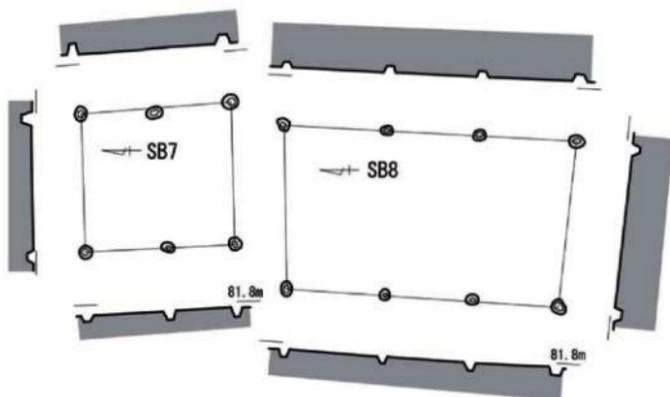
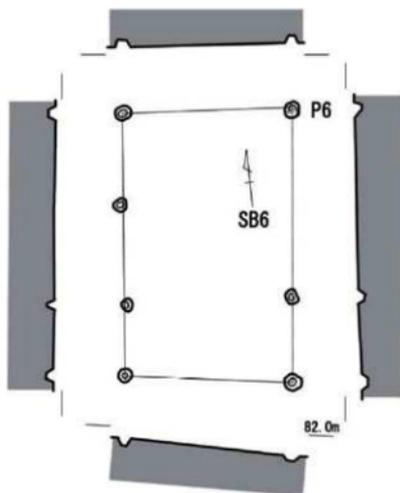
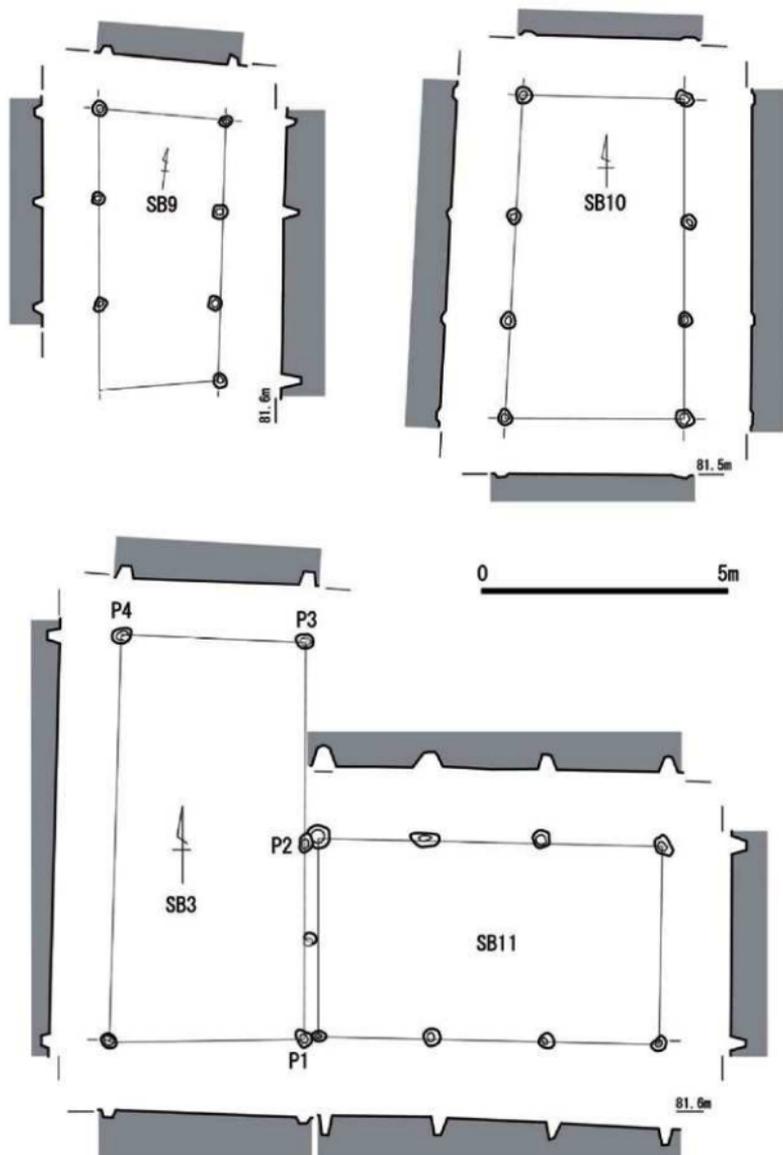


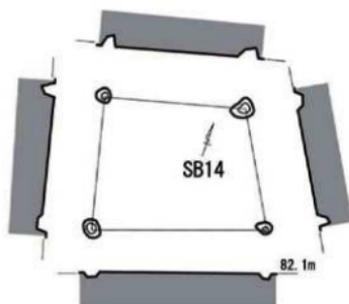
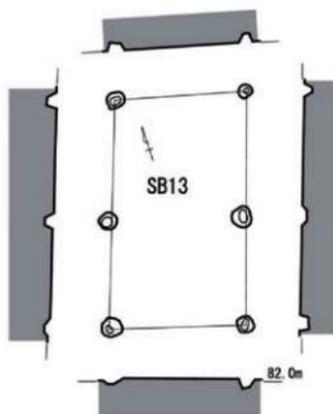
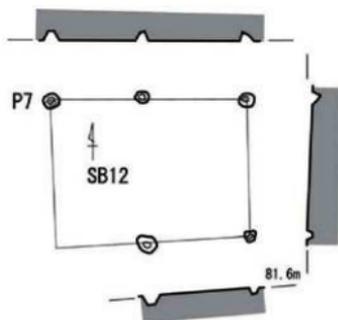
第28圖 SB4・SB5実測圖 (S=1/100)



第29圖 SB6・SB7・SB8実測図 (S=1/100)

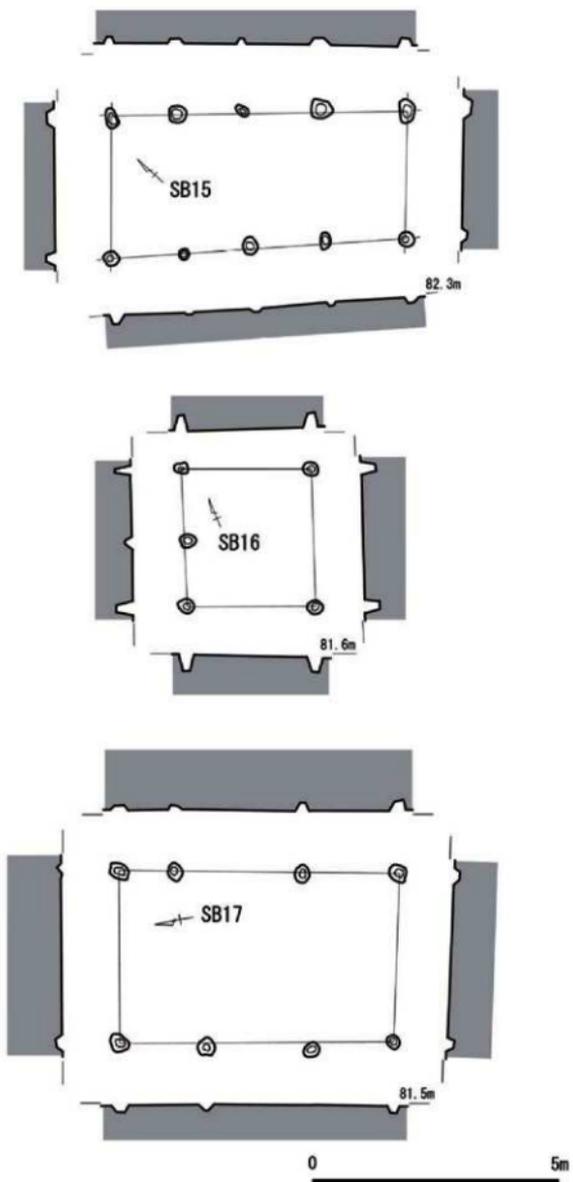


第30图 SB3·SB9·SB10·SB11实测图 (S=1/100)

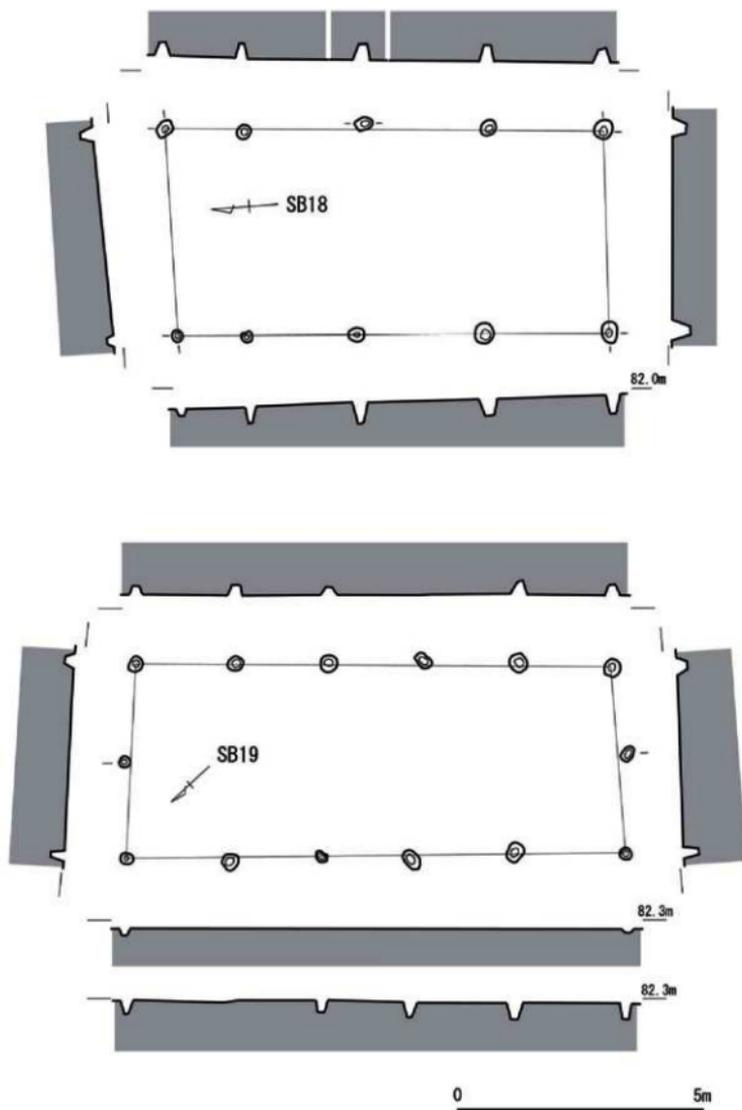


0 5m

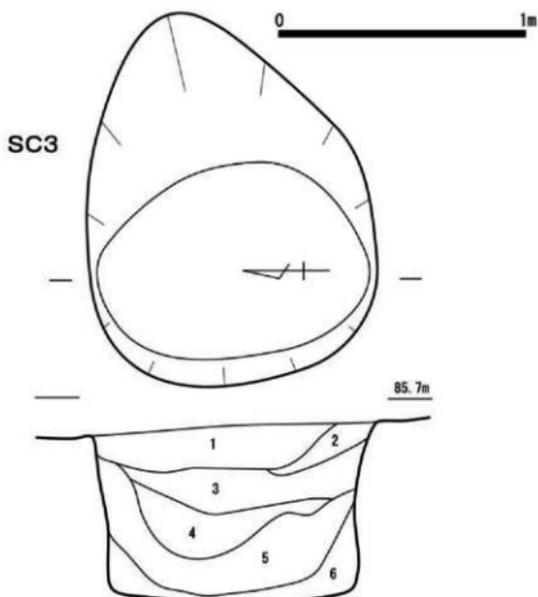
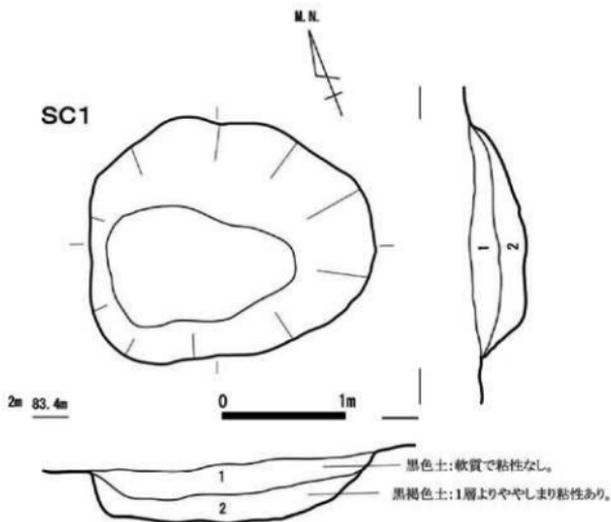
第31圖 SB12・SB13・SB14実測圖 (S=1/100)



第32圖 SB15・SB16・SB17実測圖 (S=1/100)

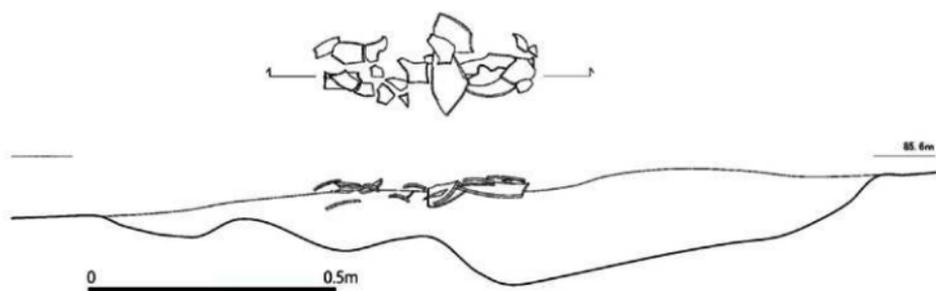
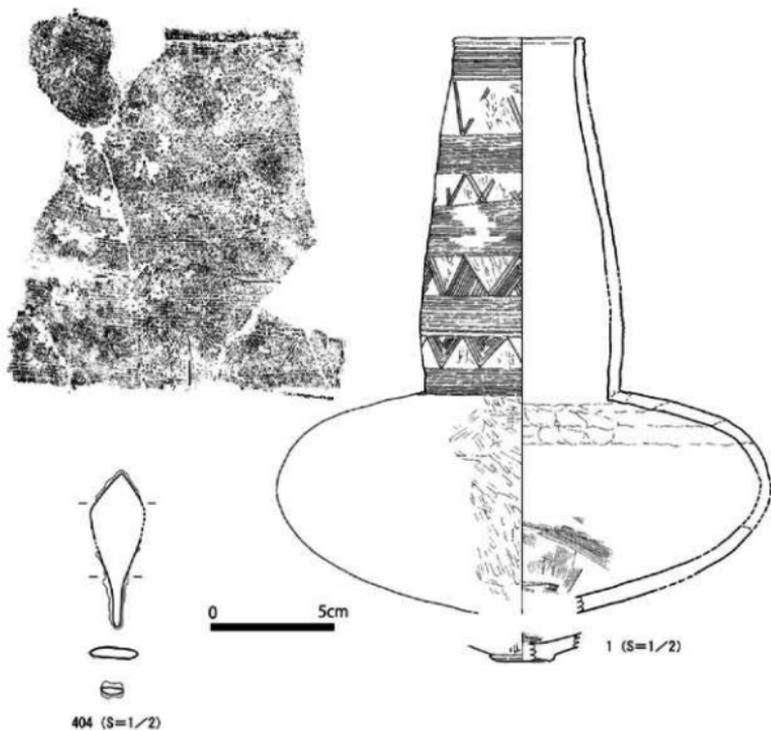


第33圖 SB18・SB19実測図 (S = 1/100)



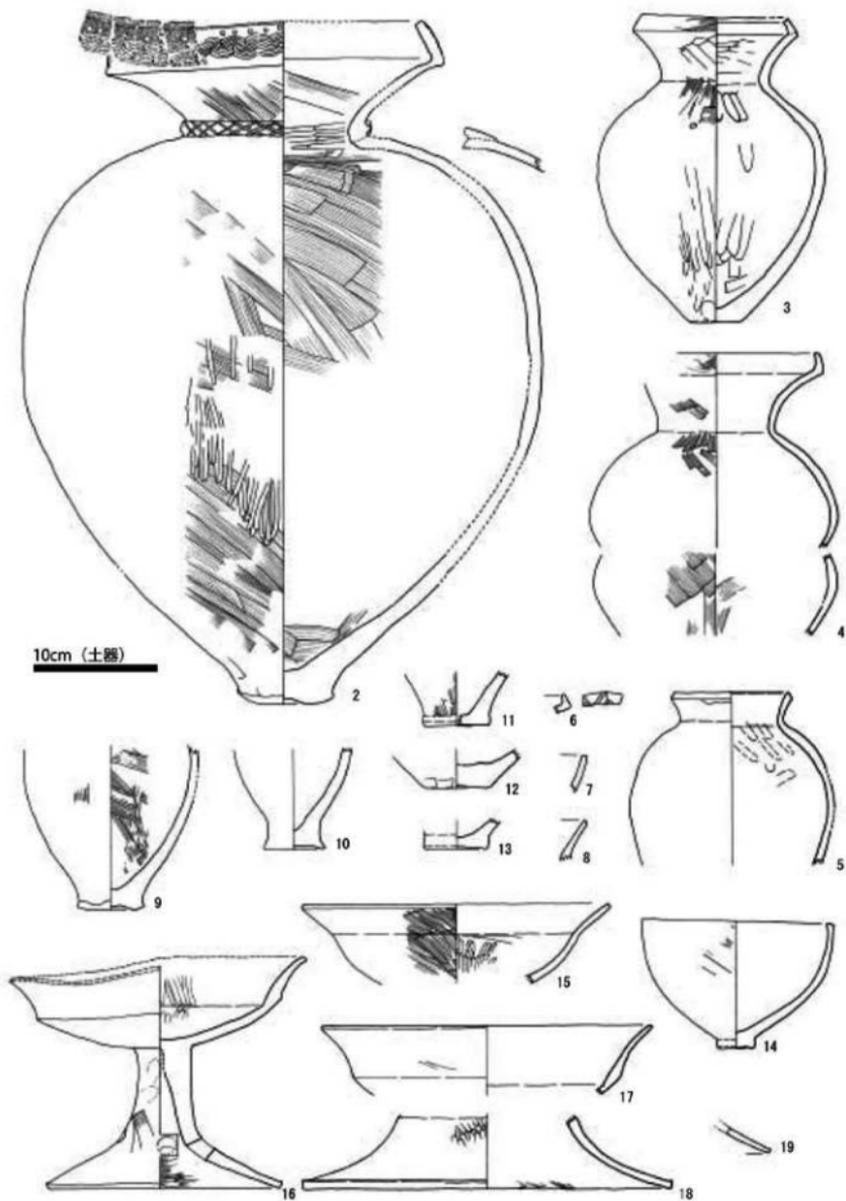
- ①明褐色土:粘性あり固くしまる。②暗褐色土:固くしまり明褐色粒を少し含む。
③暗褐色土:2層に比べ軟らかい。④暗褐色土:3層に比べ色調やや明るくもろい。
⑤黒褐色土:しまり弱く軟らかい。⑥黒褐色土:アカホヤ粒を多く含む。

第34図 SC1 (S=1/40)・SC3 (S=1/20) 実測図

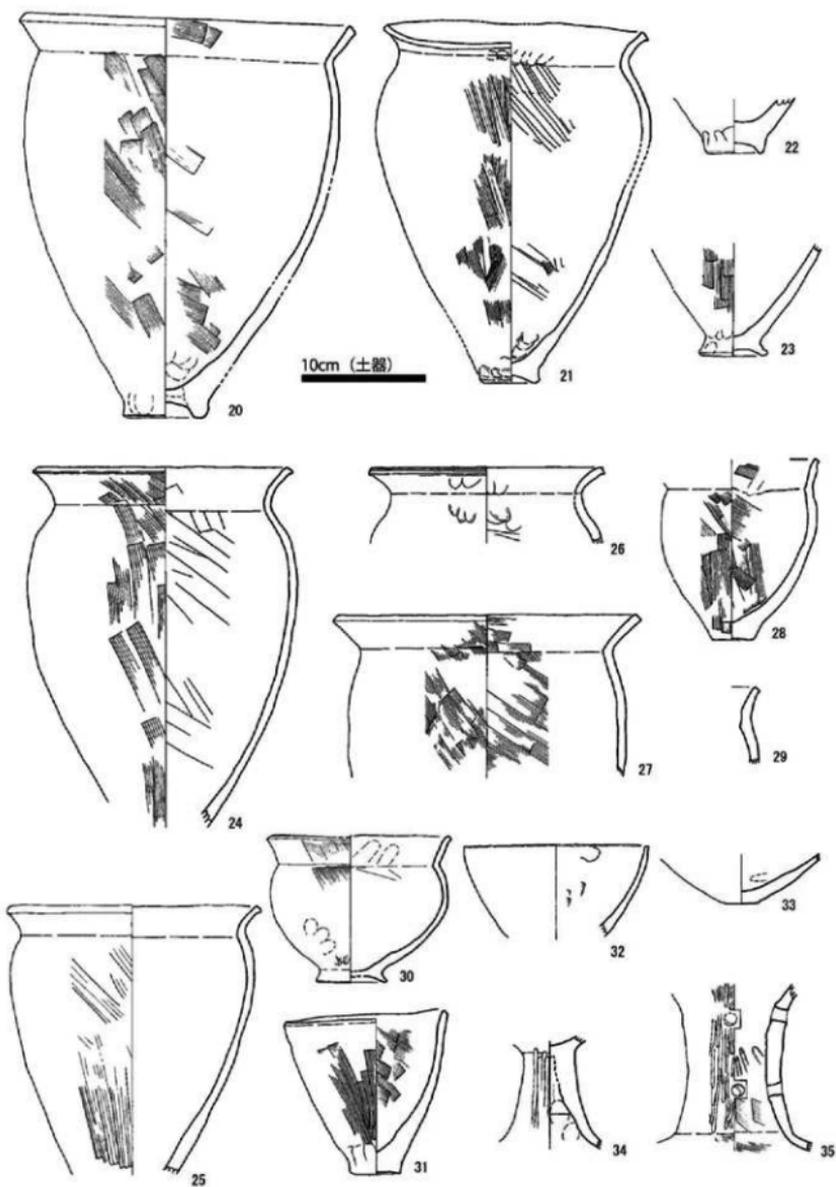


長頸甕 (1) 出土状況 (S=1/10)

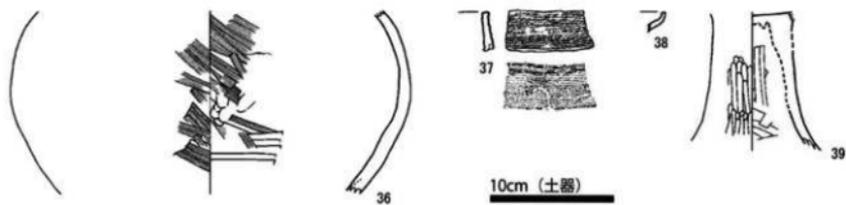
第35圖 SM 1 出土遺物実測図①



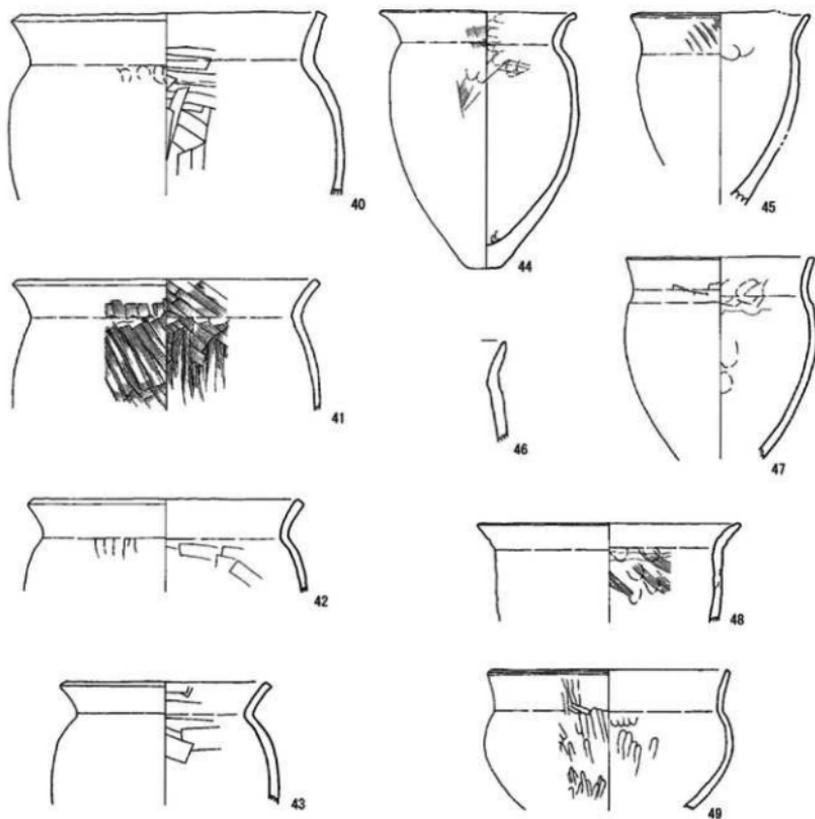
第36図 SM1出土遺物実測図② (S=1/4)



第37图 SL 1出土遺物実測図 (S=1/4)



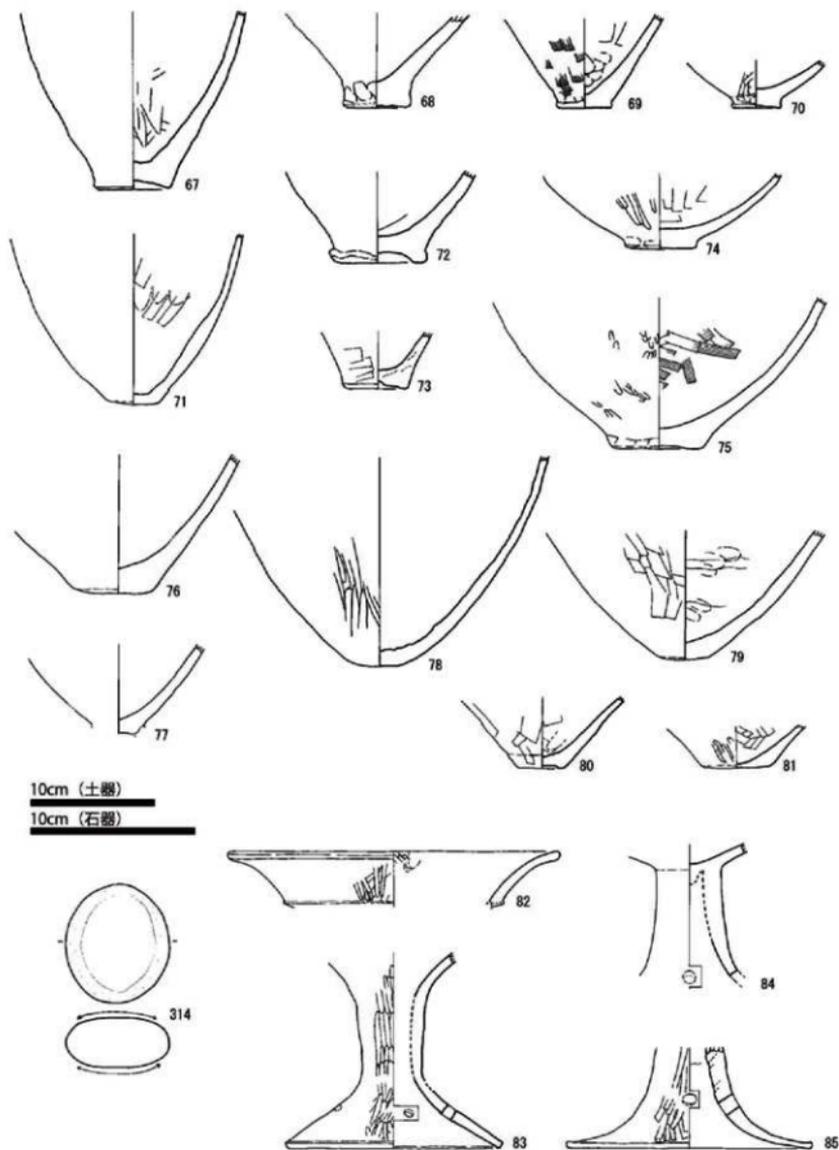
第38图 SL 2出土遺物実測図 (S=1/4)



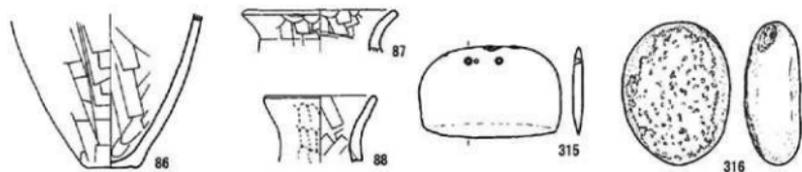
第39图 SL 3出土遺物実測図① (S=1/4)



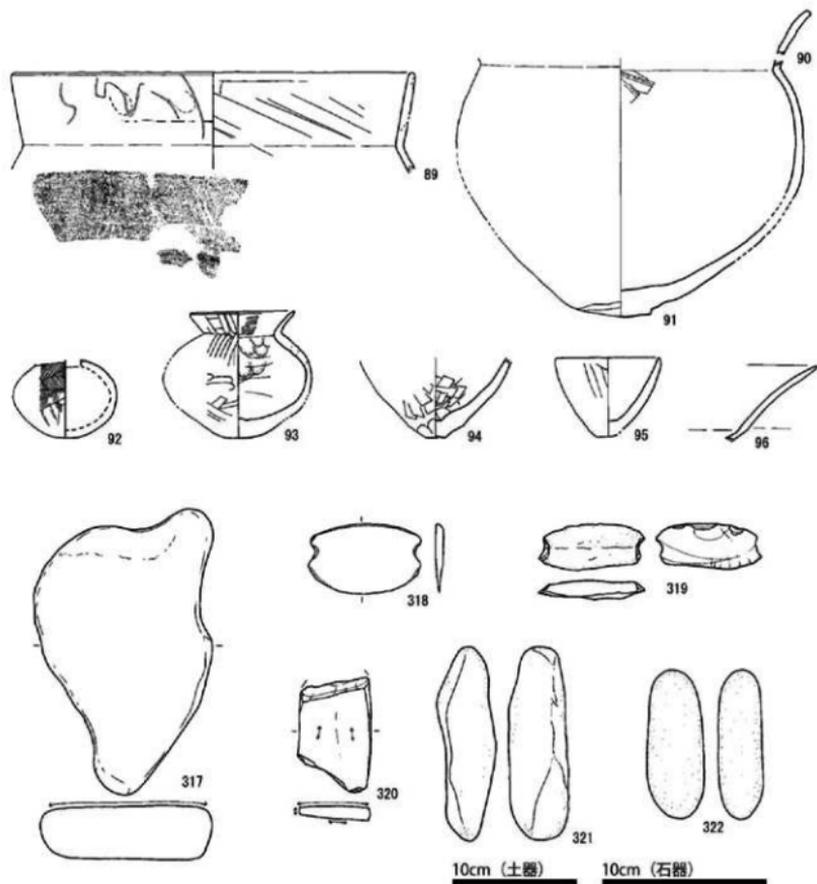
第40図 SL3出土遺物実測図② (S=1/4)



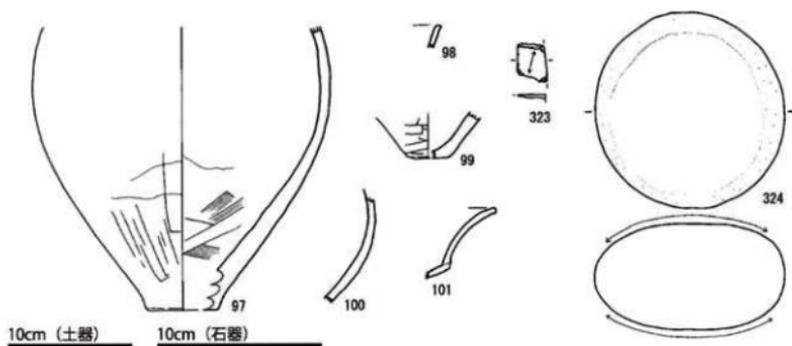
第41図 SL3出土遺物実測図③ (S=1/3、1/4)



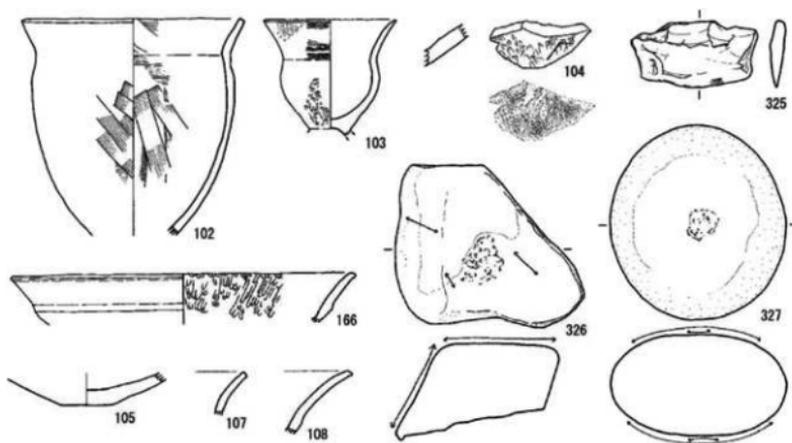
第42图 SA 1出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



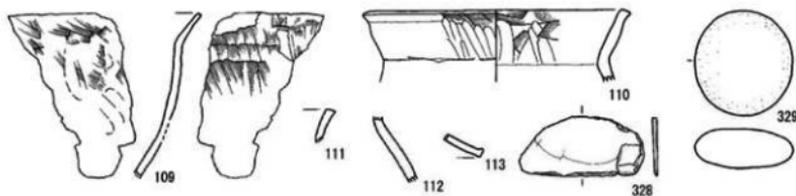
第43图 SA 2出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



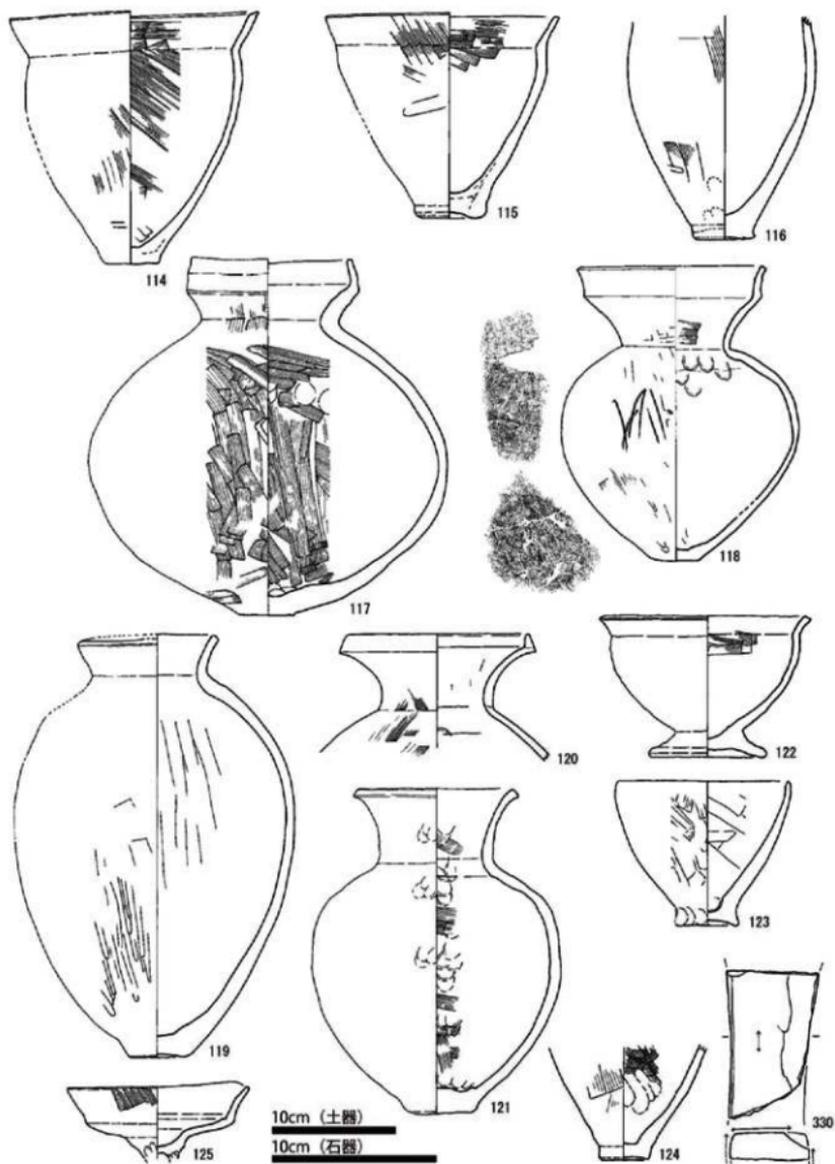
第44图 SA 3出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



第45图 SA 4出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



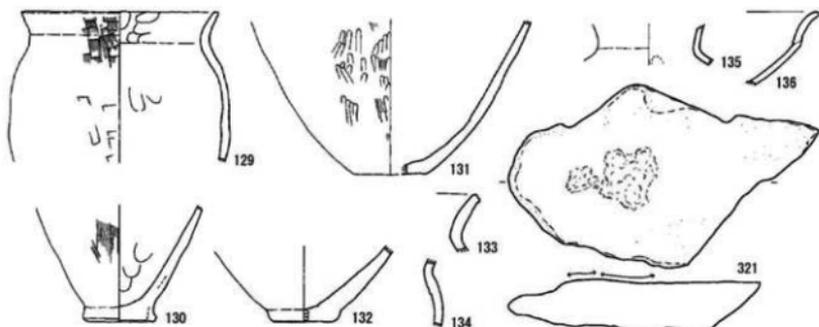
第46图 SA 5出土遺物実測図① (S=1/3、1/4)



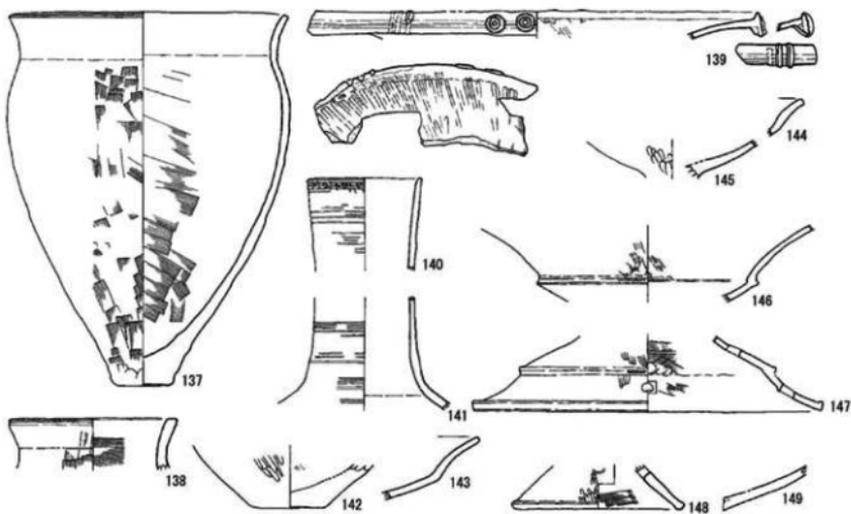
第47图 SA6出土物实测图 (S=1/3、1/4)



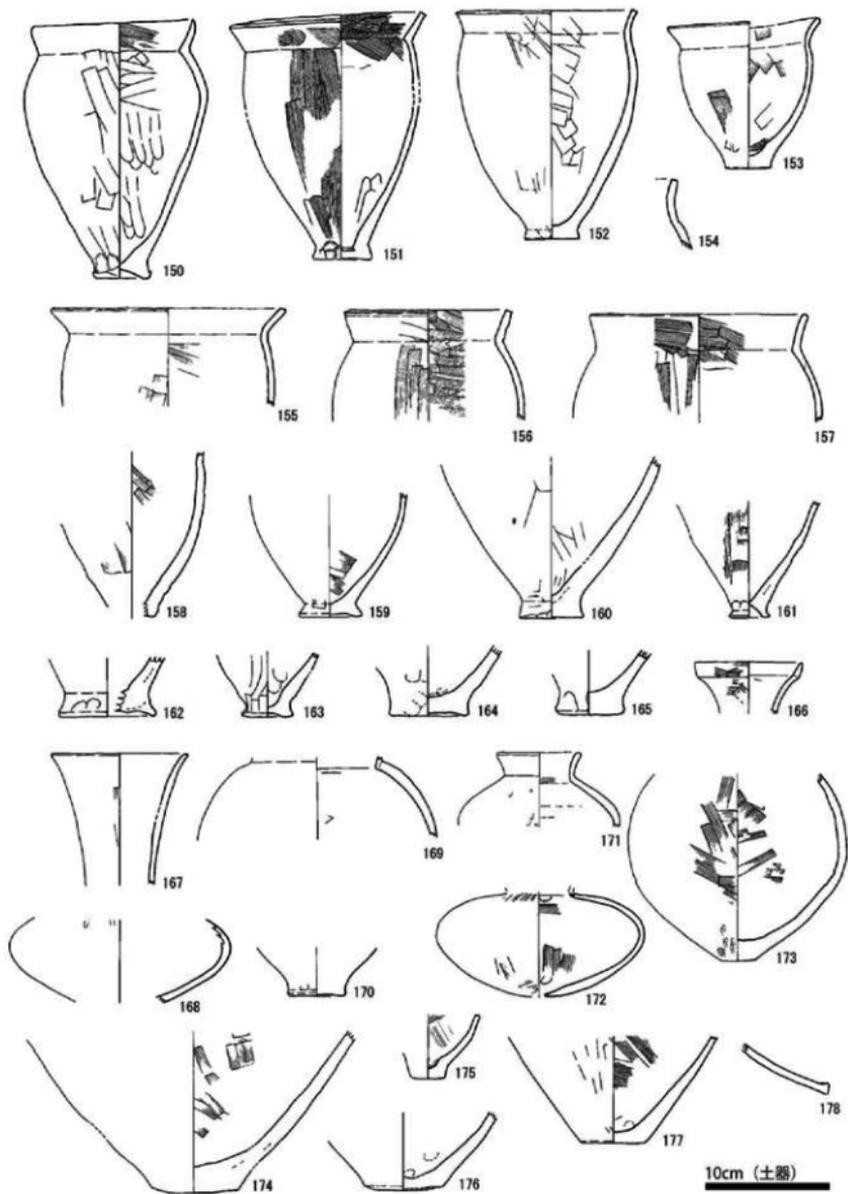
第48図 SA 7出土遺物実測図 (S=1/4)



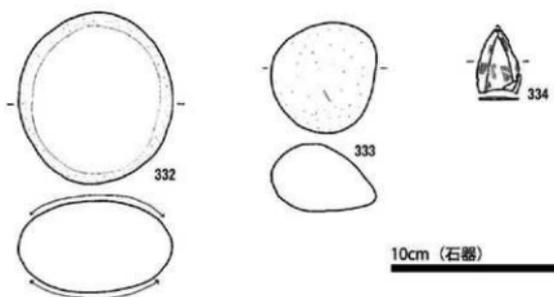
第49図 SA 8出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



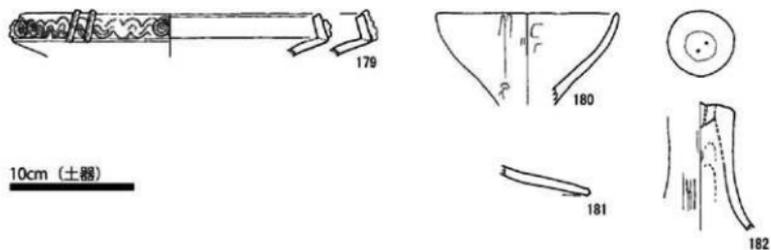
第50図 SA 9出土遺物実測図 (S=1/4)



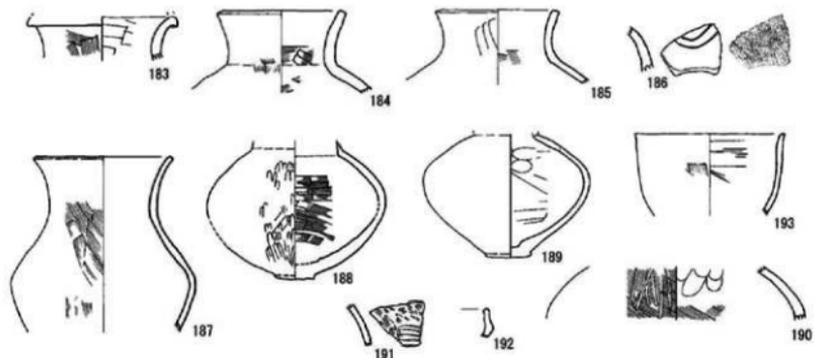
第51图 SA10出土遺物実測図① (S=1/4)



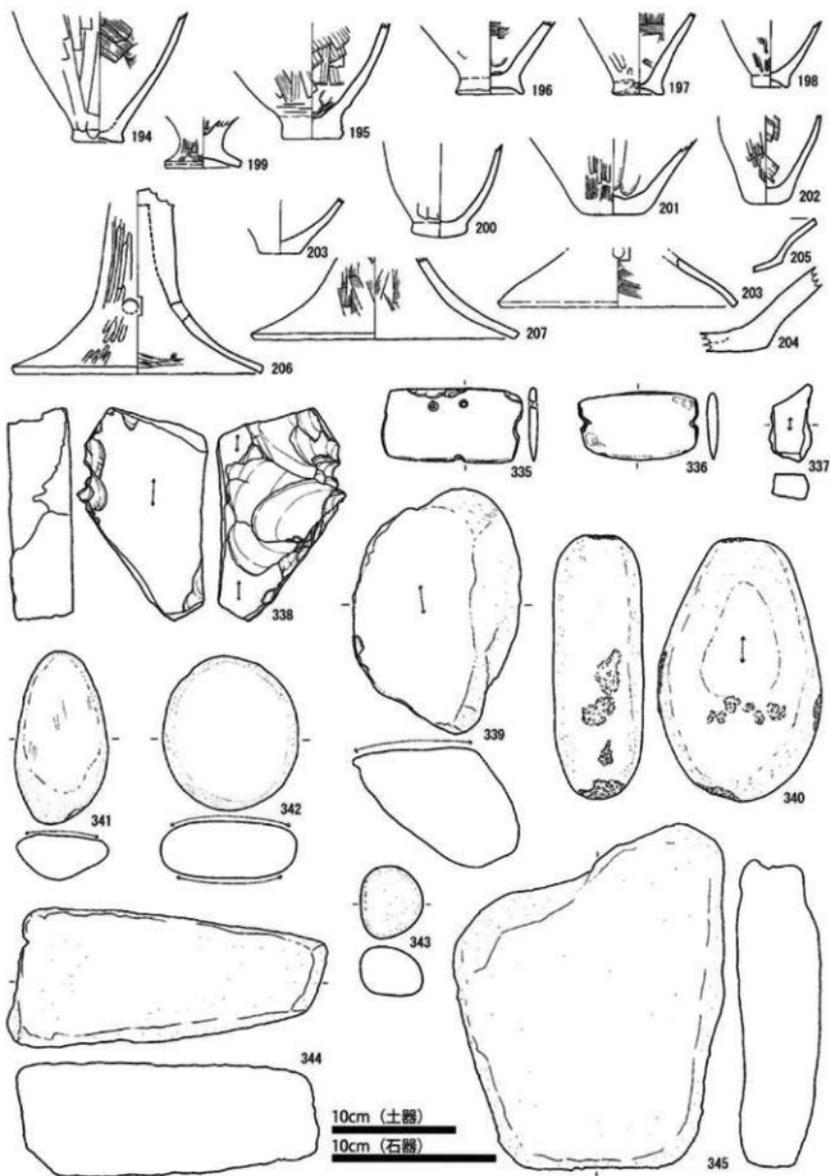
第52図 SA10出土遺物実測図② (S=1/3)



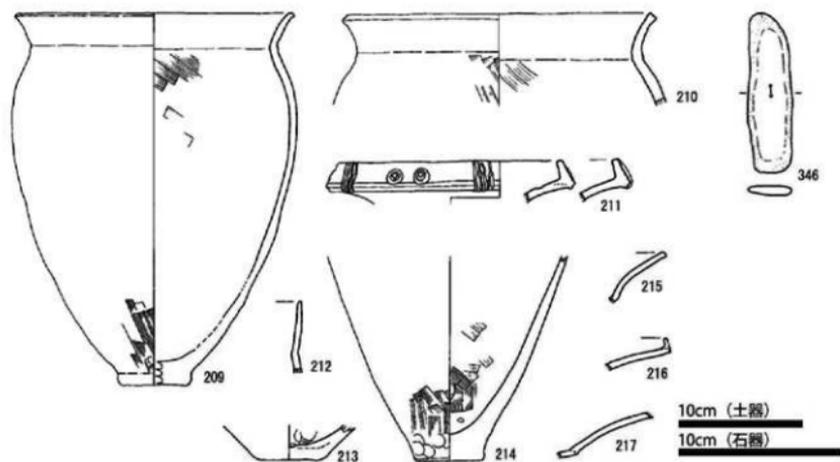
第53図 SA11出土遺物実測図 (S=1/4)



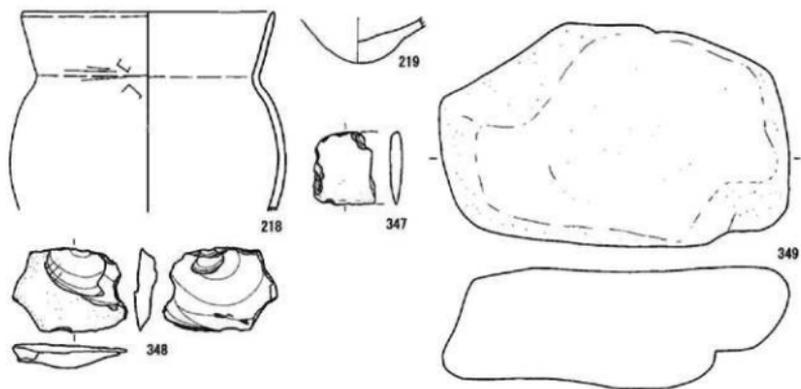
第54図 SA12出土遺物実測図① (S=1/4)



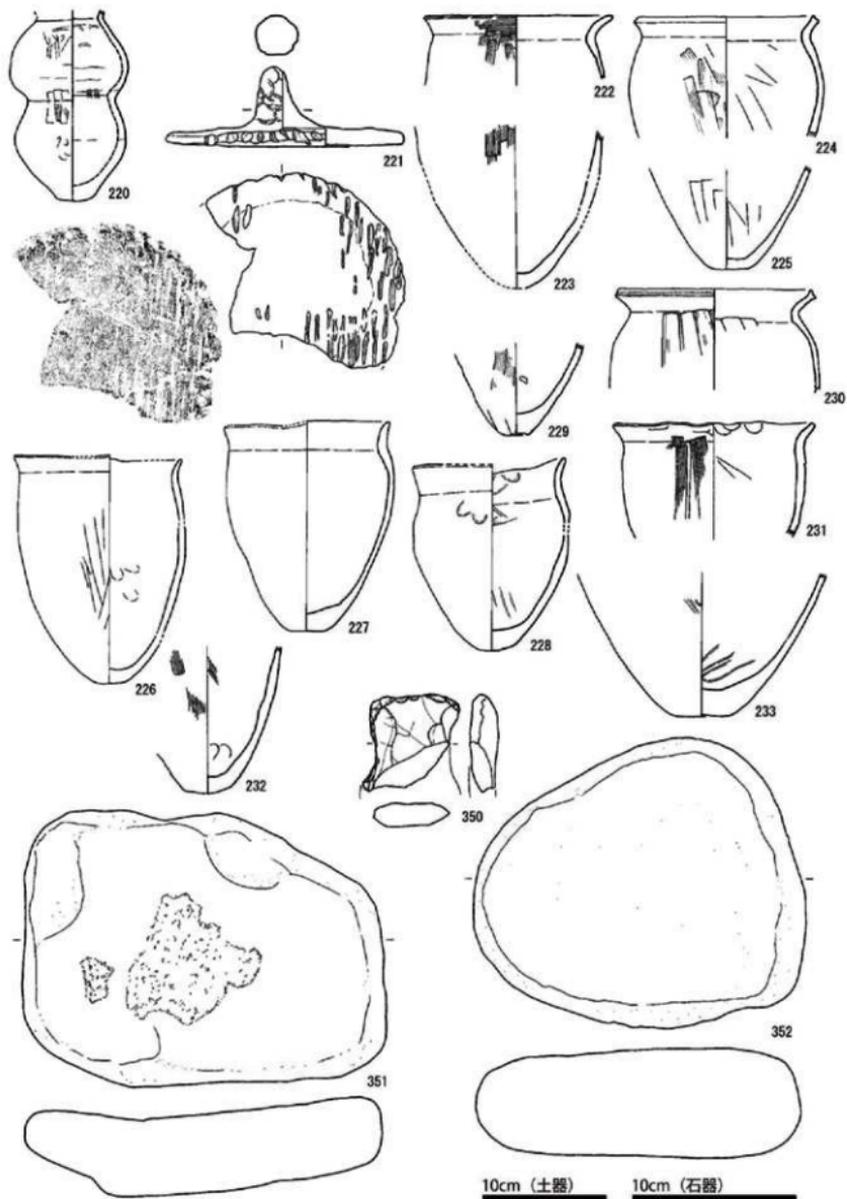
第55图 SA12出土遺物実測图② (S=1/3、1/4)



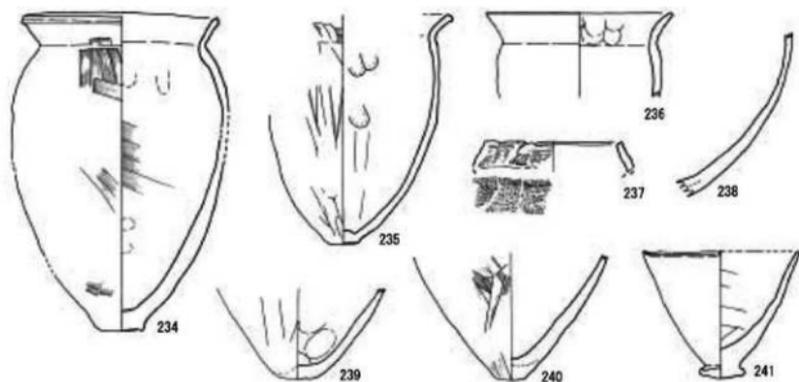
第56图 SA13出土物实测图 (S=1/3、1/4)



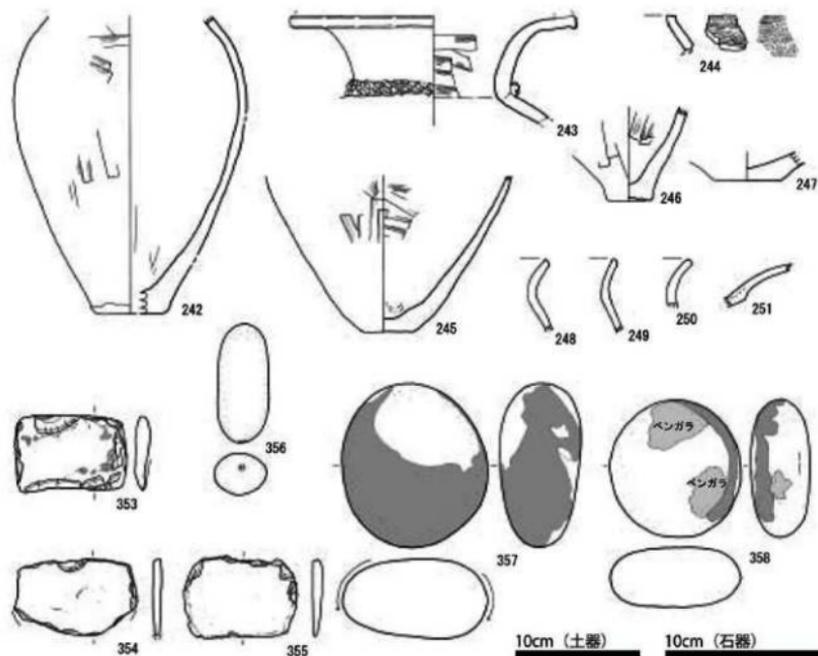
第57图 SA14出土物实测图 (S=1/3、1/4)



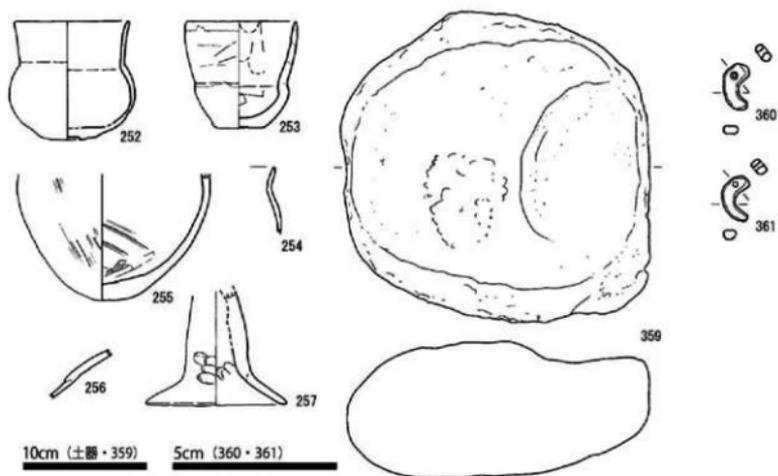
第58图 SA15出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



第59図 SA16出土遺物実測図 (S=1/4)



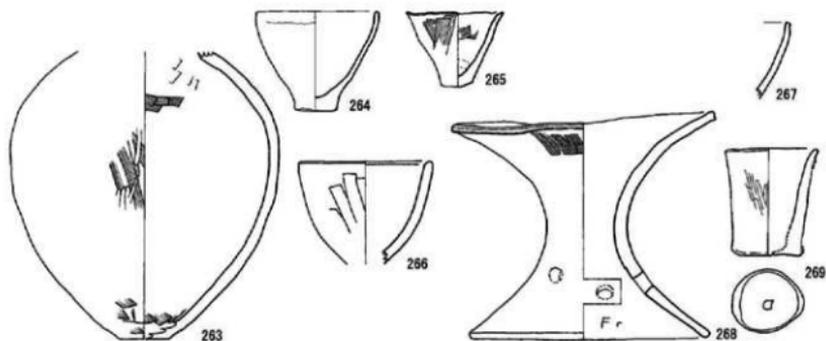
第60図 SA17出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



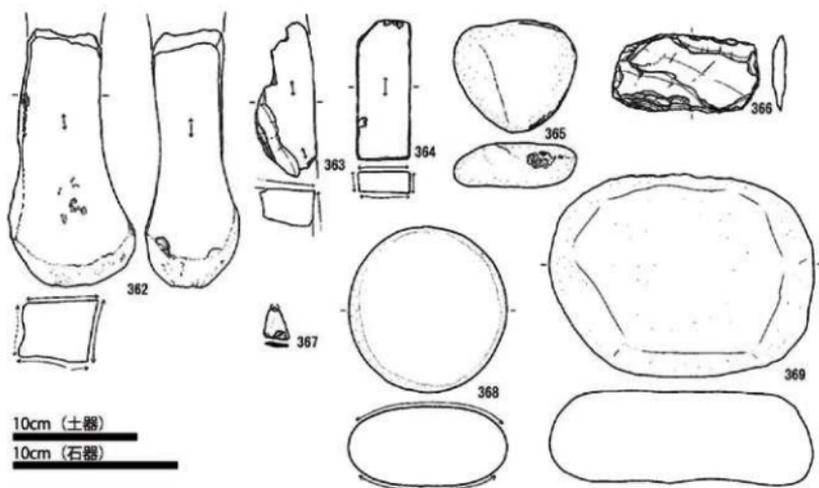
第61图 SA18出土遺物実測図 (S=1/4、2/3)



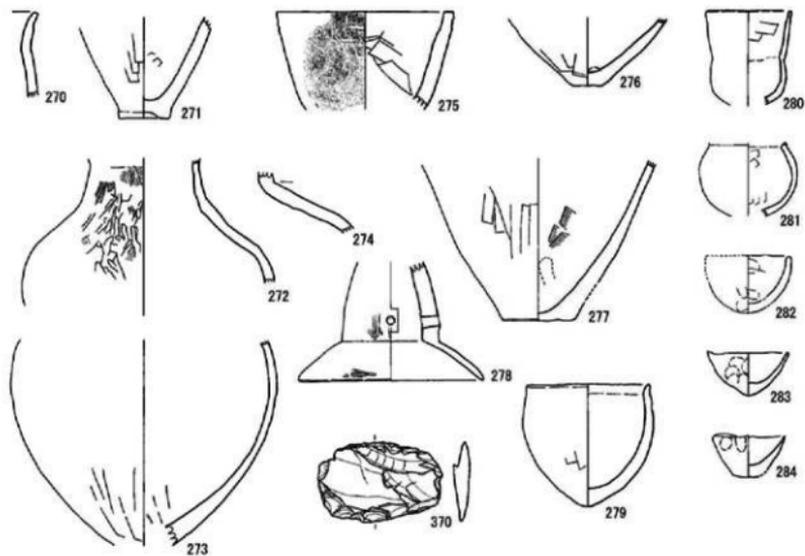
第62图 SC1出土遺物実測図 (S=1/4)



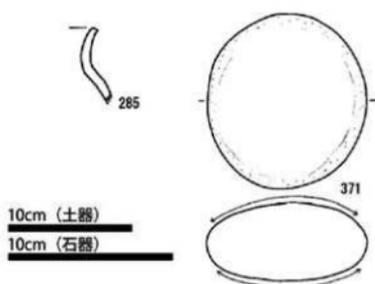
第63图 SA20出土遺物実測図① (S=1/4)



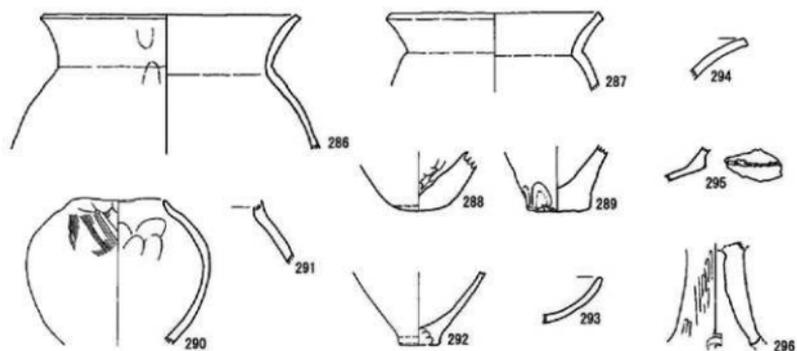
第64圖 SA20出土遺物実測図② (S=1/3)



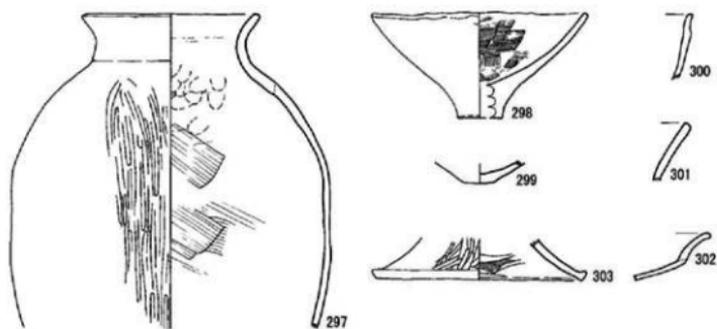
第65圖 SA21出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



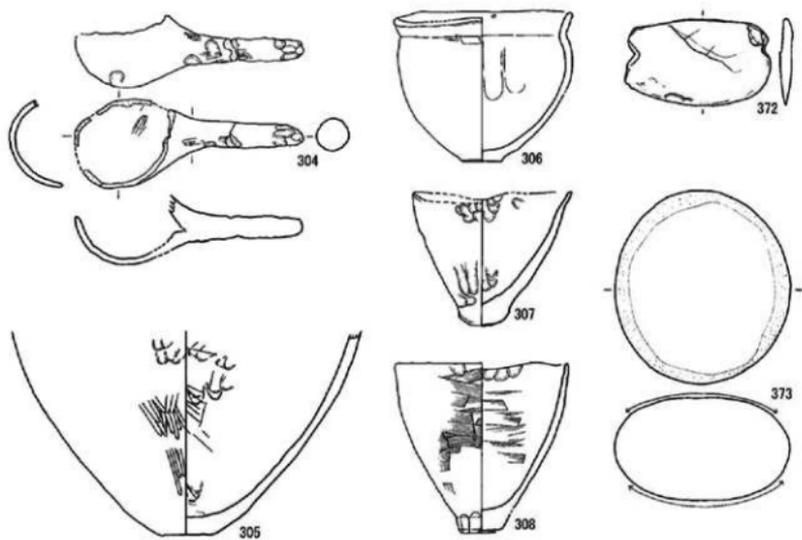
第66图 SA22出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



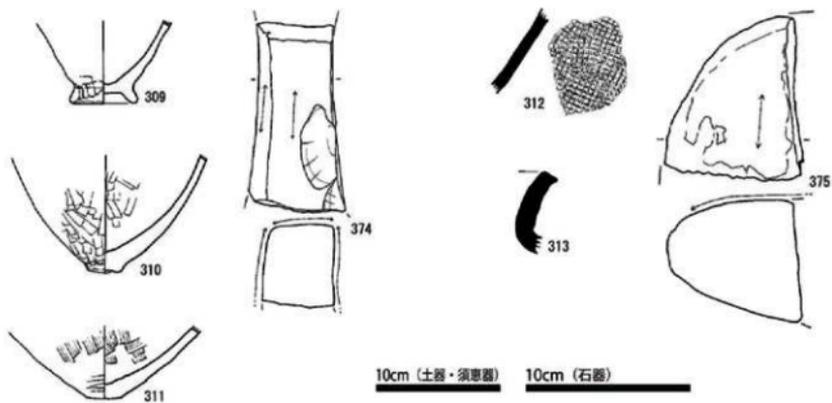
第67图 SA23出土遺物実測図 (S=1/4)



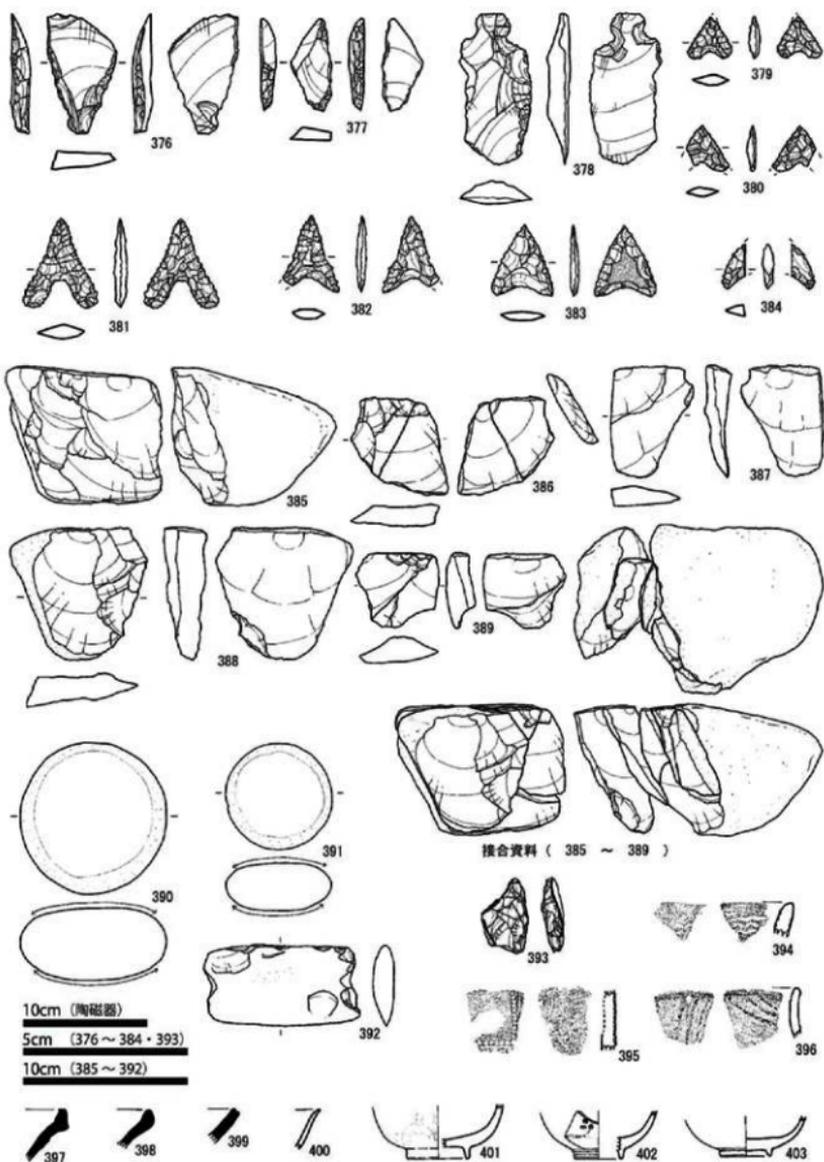
第68图 SA19出土遺物実測図 (S=1/4)



第69图 S X 1出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



第70图 溝状遺構出土遺物実測図 (S=1/3、1/4)



第71圖 包含層出土遺物実測圖 (S=1/3、1/4、2/3)

遺物番号	位置	器種	部位	法量 (cm)		文様	調整				色調		胎土	圧痕	備考
				口径	底径		器高	外面	内面	外面	内面	外面			
27	SL1	甕	口縁部～胴部	25.0			縦方向のナゲ 斜方向のナゲ	横・斜方向のハケ目	浅黄緑	に深い黄緑	5mm以下の灰白粒少し。		スス付着、一部黒変有り		
28	SL1	小型甕	口縁部～底部	3.2	14.8		ハケ目のち指押さえ	横・斜方向のハケ目 一部工具痕	に深い黄緑 黒	浅黄緑	2mm以下の灰白粒・赤褐色粒。長さ5mm 幅4mmの白色粒1個。	○	黒変有り、圧痕・胴部内面		
29	SL1	甕	口縁部				縦方向のナゲ 指押さえ	ナゲ 指押さえ	黒	に深い黄緑 に深い赤褐	1mm以下の透明粒多い。4mm以下の黄褐色・赤褐色・灰褐色粒。1mm以下の白色粒少し。				
30	SL1	小型甕	口縁部～底部	15.1	5.6	12.0	斜方向のハケ目 ハケ目のち丁寧ナゲ 指押さえ	丁寧なナゲ 指押さえ	明黄緑	緑	3mm以下の赤褐色・灰褐色粒。1mm以下の透明粒多い。2mm以下の明赤褐色粒わずら。				
31	SL1	小型鉢	口縁部～底部	13.4 短 12.5	4.2	13.1	縦方向のナゲ 縦方向のハケ目 指ナゲ・指押さえ	斜方向ハケ目 指いナゲ	に深い緑	に深い緑	4mm以下の灰白・灰色粒多い。		外面：一部黒変、差		
32	SL1	鉢	口縁部～胴部	14.8			ナゲ	ハケ目のち丁寧ナゲ 一部工具痕	緑	緑	5mm以下の茶色粒多い。2mm以下の白色粒。				
33	SL1	鉢	底部	2.6			丁寧なナゲ	丁寧なナゲ 指押さえ	緑	黄灰	2mm以下の灰褐色粒。1.5mm以下の茶褐色粒多い。1mm以下の明赤褐色粒わずら。				
34	SL1	高坏	脚部			内面に沈線	縦方向のシガキ	ナゲ	橙 黄灰	緑	4mm以下の灰褐色・灰白色粒。		一部黒変、内面の中央に凸部有り。風化著しい		
35	SL1	器台	柱部				縦方向ハケ目の横シガキ 強い工具ナゲ	斜・横方向のハケ目 強い工具ナゲ	に深い赤褐	黄灰	4mm以下の橙褐色。3mm以下の灰褐色・灰白色粒多い。		透かし有り、外面黒変有り		
36	SL2	壺	胴部				斜方向ハケ目長ナゲ	斜方向のハケ目の横ナゲ 横・斜方向の工具痕	緑	明黄緑	3mm以下の褐色～赤褐色の角が丸い粒。				
37	SL2	壺	口縁部			縁部文	ヨコナゲ	横方向のナゲ	緑	緑	2mm以下の褐色・灰白粒。		縦合白縁		
38	SL2	壺	口縁部				横方向のナゲ	横方向のナゲ	に深い緑	に深い緑	2mm以下の褐色粒。				
39	SL2	高坏	脚部				丁寧なナゲ	縦方向の強いハケナゲ 斜・横方向ナゲ	緑	緑	3mm大の赤褐色・灰白色で角が丸い粒。		外面風化気味		
40	SL3	甕	口縁部～胴部	23.6			粗いハケナゲのちナゲ	ナゲ	に深い黄緑	黒	に深い黄緑	3mm以下の赤褐色粒多い。2mm以下の灰白粒。3mm大の灰白粒1個。		外面：一部黒変、結土のたまり有り	
41	SL3	甕	口縁部～胴部	25.0			縦、横、斜方向のハケ目 ナゲ	斜方向のハケ目 指押さえ	に深い緑	に深い黄緑	5mm以下の灰白粒多い。				
42	SL3	甕	口縁部～胴部	21.5			横方向ナゲ 斜のち縦方向指ナゲ	斜方向工具ナゲ	浅黄緑	浅黄緑	4mm以下の茶・褐色・灰色粒多い。		風化著しい		
43	SL3	甕	口縁部～胴部	16.3			横、斜方向ナゲ	横、縦方向ナゲ 強い指押さえ	に深い黄緑	に深い黄緑	5mm以下の褐色・白粒少し。		口唇部と胴部一部にスス付着		
44	SL3	甕	口縁部～底部	15.7	22.0	21.2	斜方向のハケ目のちナゲ	横、斜方向の工具ナゲ	浅黄緑	浅黄	5mm大以下の灰白・赤褐色粒の角が丸い粒片。		外面スス大量付着、内面風化顕著		
45	SL3	甕	口縁部～胴部	14.6			縦、横、斜方向工具ナゲ 斜方向のハケ目	横方向の丁寧なハケナゲ	に深い緑	に深い黄緑	3mm以下の灰白・褐色粒多い。		外面全体にスス付着		
46	SL3	甕	口縁部～胴部				横、縦方向ナゲ 指押さえ	斜方向の強いナゲ	に深い黄緑	黒	に深い黄緑	2mm以下の褐色粒。		外面スス付着	
47	SL3	甕	口縁部～胴部	15.3			横方向の工具ナゲ	ナゲ	に深い緑	に深い黄緑	2mm以下の灰色粒少し。	○	胴部内面に圧痕か		
48	SL3	甕	口縁部～胴部	21.2			横、縦方向工具ナゲ	指押さえのち 斜方向のハケ目	に深い黄緑	に深い黄緑	3mm以下の黄灰・黄緑・明黄緑とくわす。		黒変、風化気味		
49	SL3	甕	口縁部～胴部	19.1			ヘラシガキか	ヘラシガキか	に深い緑	に深い黄緑	3mm以下の黄灰・黄緑・明黄緑とくわす。		黒変、風化気味		
50	SL3	甕	胴部				縦方向の工具ナゲ	縦方向の工具ナゲ	黄灰 黄灰	に深い黄緑	4mm以下の灰・褐色粒多い。		外面中央部に黒変有り、内面の調整 単位が揃って不明		
51	SL3	甕	胴部				ナゲ	ハケの横ナゲ	に深い緑	黒褐	5mm以下の灰白色・褐色粒。		スス付着		
52	SL3	短頸甕	口縁部～胴部	10.7			指いナゲ	縦方向のナゲ	浅黄緑	に深い黄緑	浅黄	4mm以下の灰色粒。2mm以下の灰白色粒多い。		風化著しい・調整不明	

第6表 遺物観察表(2)

遺物 番号	位置	器種	部位	量量 (cm)		文様	調整		色調		胎土	正産	備考
				口径	底径		器高	外面	内面	外面			
53	SL3	壺	口縁部～肩部	13.5			縦方向のナゲ 縦方向の凸部	縦方向のナゲ	にぶい黄緑	にぶい黄緑	3mm以下の褐色粒少し、5mm以下の白色 小石粒・黒色粒わずか。		口縁の一部スス付着
54	SL3	壺	口縁部～胴部	13.8			縦方向のナゲ 丁寧な工具ナゲ	ナゲ	浅黄緑	にぶい黄緑	4mm以下の灰白色・茶褐色粒少し、1mm 以下の黒色炭粒ごくわずか、8mmの灰 黄粒1個、10mm薄茶色粒1個。		○ 外面黒炭・スス付着。 正産・胴部外面不産
55	SL3	壺	口縁部～肩部	11.7		帯線状文	ナゲ	ハケ目のちナゲ 指押さへ	橙	黄緑	2mm以下の黒褐色・にぶい赤褐色・赤褐色 粒多し。		○ 結合口縁、正産・胴部内外面に有り
56	SL3	小型壺	口縁部～底部	6.0	長2.3 短 2.0		工具のち指ナゲ	丁寧な指ナゲ	にぶい黄緑	橙	2mm以下の明赤褐色粒多し、鉄輝灰白 粒わずか。		○ 底部・非付着工具による透き(貫通) 外面黒炭有り
57	SL3	壺	胴部～底部	3.0			ヘラツギカ	工具ナゲのち指ナゲ	にぶい黄緑	にぶい黄緑	2～4mm以下の褐色・にぶい黄緑・灰白・浅 黄緑・黒褐色粒。		
58	SL3	甕	底部	3.8			縦方向の工具ナゲ	斜方向の工具ナゲ 指押さへ	灰白	灰黄	3mm以下の褐色・灰白・褐色粒。		○ スス付着、正産・胴部外面
59	SL3	小型鉢	口縁部～底部	7.8	2.0	8.7	ナゲ	横・斜方向のハケ目 の丁寧なナゲ	黄緑	浅黄	3mm以下の灰白色・白色・やや黄色の角 が丸い磁片。		○ 外面スス付着、内面黒炭化
60	SL3	甕	胴部～底部	4.2			斜方向ハケ目のちナゲ	縦方向のハケ のち指ナゲ	浅黄	浅黄	5mm以下の灰白・赤褐色の丸粒。		○ 外面スス付着
61	SL3	甕	胴部～底部	6.2			工具ナゲ	ハケ目	にぶい黄緑	褐色	4mm以下の褐色・黒色粒、2mm以下の白・ 赤褐色粒。		○ 外面一部スス付着、内外面黒炭
62	SL3	甕	胴部～底部	4.3			工具ナゲ	指ナゲ	浅黄緑	橙	5mm以下の褐色・赤褐色・灰白・にぶい褐色 粒多し、7mm以下の黒褐色・10mm以下の 褐色粒をそれぞれ1個、2mm以下の透明黄 炭粒少し。		○ 外面スス付着
63	SL3	小型鉢	口縁部～底部	(11.7)	3.7	8.7	斜方向のナゲ 指押さへ	縦・斜方向の丁寧な指ナゲ	明黄緑	橙	1mm以下の赤褐色・灰白・白色粒。		○ 黒炭・黒炭有り、スス付着、外面黒炭 化気味
64	SL3	甕	胴部～底部	4.5			縦方向の工具ナゲ 指押さへ	ナゲ	にぶい黄緑	黒褐色	5mm以下の褐色粒、4mm以下の黒褐色 粒、2mm以下の白色粒、1mm以下の赤褐 色粒。		○ 黒炭・一部スス付着
65	SL3	甕	胴部～底部	3.2			ハケ目のちナゲ 指押さへ	工具ナゲのち指押さへ	橙	にぶい黄緑	3mm以下の黒・乳白・黒・黒褐色・灰白粒。		○ スス付着、黒化気味
66	SL3	甕	胴部～底部	6.2	13.7		縦・斜方向ヘラツギ	ナゲ	灰白	橙	4mm以下の乳白粒・にぶい褐色粒多し、 8mm大の黄灰色粒1個、5mm以下の灰白・ 褐色・褐色粒多し。		○ 内外、内面黒化著しい、外面スス付着
67	SL3	甕	胴部～底部	6.1			ナゲ	不定方向のナゲ 工具指	橙	橙	8mm大の黄灰色粒1個、5mm以下の灰白・ 褐色・褐色粒多し。		○ 外面スス付着、外面黒炭化
68	SL3	鉢	胴部～底部	5.5			縦方向ヘラツギ 指押さへ	ナゲ	橙	褐色	3mm以下の灰黄緑・褐色・灰白・赤褐色 粒多し。		○ 内面黒炭
69	SL3	鉢	胴部～底部	長4.7 短 4.3			縦方向のハケのちナゲ	ナゲ	にぶい黄緑	にぶい黄緑	3mm以下の赤褐色・乳白・灰白粒、2mm 以下の黒色炭粒少し。		○ 黒炭有り、外面黒炭化
70	SL3	鉢	底部	3.7			斜方向のナゲ	丁寧なナゲ	にぶい黄緑	黄緑	3mm以下の黒褐色・白色不透明粒、2mm 以下の黒色純黄炭粒多し。		○ 外面スス付着、内面黒炭化
71	SL3	甕	胴部～底部	4.1			縦・斜方向のナゲ 指押さへ	縦・斜方向のナゲ 指押さへ	にぶい黄緑	にぶい黄緑	5mm以下の灰白・褐色炭粒、3mm以下の 黒色透明炭粒。		○ 外面スス付着、内面一部黒炭
72	SL3	甕	底部	7.2			斜方向のナゲ 工具による凹み	斜・縦方向のナゲ	浅黄緑	灰黄	7mm以下の褐色・橙・灰白色粒。		○ 外面黒炭化気味、一部赤化
73	SL3	甕	底部	4.8			工具による凹みナゲ	ナゲ	浅黄	浅黄	5mm以下のにぶい褐色粒、4mm以下の灰 白・黄灰粒多し。		○ 黒化、底部に明褐色凹み
74	SL3	壺	胴部～底部	5.8			縦方向の丁寧なナゲ 指押さへ	ナゲ	浅黄	灰黄	4mm以下の乳白色・褐色粒少し。		○ 内面黒炭
75	SL3	鉢	胴部～底部	7.5			斜方向ヘラツギ のち縦方向のヘラツギ	斜・縦方向のハケ目 のちナゲ	にぶい橙	灰白	5mm以下の褐色粒少し、2mm以下の灰黄 褐色・灰白粒。		○ 正産・胴部内面
76	SL3	甕	胴部～底部	6.2			ナゲ	ナゲ	浅黄緑	明黄緑	3mm以下の明褐色炭粒、白色粒少し、微細 透明粒に乏し。		○ 灰化物・スス付着、黒 内面黒炭、黒化物付着、割台付か 一部黒炭・スス付着、外面一部赤化、 黒化著しい。
77	SL3	甕	胴部～底部	2.1			縦方向ナゲ 指押さへ	ナゲ	にぶい黄緑	黒褐色	4mm以下の白・褐色の粒多し。		
78	SL3	鉢	胴部～底部	4.2			ヘラツギのちツギキ	工具ナゲ	にぶい黄緑	赤褐色	3mm以下の白色粒、2mm以下の褐色粒。		

第6表 遺物観察表(3)

遺物 番号	位置	器種	部位	法量 (cm)			文様	調整		色調		正真	備考	
				口径	底径	器高		外面	内面	外面	内面			
79	SL3	鉢	胴部～底部	4.1				縦・斜方向の工具ナデ 丁寧なナデ	ナデ 指押さへ	橙	淡黄		5mm以下の明褐色粒1粒付着, 5mm以下の 明橙・灰白・緑灰粒。	
80	SL3	鉢	胴部～底部	3.6				縦・斜方向の工具ナデ	工具ナデ 指い・指押さへ	にがい・橙	淡黄橙		2mm以下の灰色・橙・灰白粒。	
81	SL3	鉢	底部	(5.8)				縦方向ハケ目・ナデ のらしき・指押さへ	斜方向のナデ	橙	橙		2mm以下の灰色・にがい・黄橙・灰黄褐色 粒。	
82	SL3	高杯	坪部	(26.7)				コナナデ 斜方向のハケ目の後ミガキ 全	一部ミガキ 縦方向の丁寧なナデ	にがい・黄橙	淡黄		4mm以下の赤褐色・白色の角がしい・岩 片, 1mm以下の白色不透明・無色透明 物粒。	
83	SL3	器台	脚部	17.0				縦方向のミガキ 横方向のナデ	粗いナデ 横方向のヘラナデ	淡黄橙	にがい・橙	にがい・橙	淡黄橙	2mm以下の褐色・灰白色粒多い。
84	SL3	高杯	坪部～脚部					黒化著しく不明	ナデ	淡黄橙	淡黄橙		2mm以下の褐色・灰白色粒。	
85	SL3	高杯	脚部～底部	(19.7)				縦方向のハケ目の後ナデ	ナデ	淡黄橙	黄橙		2mm以下の灰白粒, 3mm以下の赤褐色・ 白色粒多い。	
86	SA1	壺	胴部～底部	(4.0)				ヘラナデ	ヘラナデのら指押さへ	にがい・黄橙	にがい・黄橙		2mm以下の赤褐色・白褐色粒, 7mmの白 灰粒1個。	
87	SA1	壺	口縁部～胴部	(12.0)				工具によるナデ 指押さへ	ヘラナデ 指押さへ	淡黄橙	灰白		1mm以下の灰白光沢粒多い, 2mm以下の 褐色・白色透明粒, 10mm程度の灰粒1 個。	
88	SA1	壺	口縁部～胴部	(8.6)				ナデ	ナデ	淡黄橙	淡黄橙		4mm以下の白色透明・白色光沢・褐色 粒。	
89	SA2	壺	口縁部～胴部	(32.2)			線刻	コナナデ	横方向のナデ	にがい・黄橙	にがい・黄橙		2mm以下の灰褐色・黒色光沢粒多い。	
90	SA2	壺	口縁部					ナデ	ナデ	にがい・黄橙	黒		2mm以下の黒色・透明光沢粒。	
91	SA2	壺	胴部～底部	6.4				ナデ	一部工具痕	橙 黒	にがい・黄橙	黄灰	4mm以下の灰色・灰白・透明光沢粒。	
92	SA2	小型壺	胴部～底部	2.1				縦, 斜方向のハケ目 底跡ナデ	ナデ 指押さへ	橙 黄灰	灰黄		1mm以下の黒・透明の光沢粒多い。	
93	SA2	小型壺	口縁部～底部	8.6	1.7	(10.3)		ナデ, ミガキ	ナデのら指押さへ 丁寧なナデ	赤褐 にがい・黄橙 黒	明黄橙 黒		1mm以下の灰色・黒色光沢・透明光沢 粒多い, 1mm以下の赤褐色粒, 5mm程度の 灰褐色粒1個。	
94	SA2	壺	胴部～底部	(1.6)				ナデ	工具によるナデ 指押さへ	淡黄橙	灰黄褐色		2mm以下の灰褐色粒多い, 5mm以下のに がい・赤褐色・透明光沢粒, 8mm程度のに がい・黄褐色粒1個。	
95	SA2	小型鉢	口縁部～底部	8.6	6.5	6.5		ヘラナデ 指押さへ	ナデ	明赤褐 黒	明赤褐		4mm以下の白色透明・透明・黒色光沢・赤 褐色粒。	
96	SA2	高杯	坪部					コナナデ ナデ	ナデ	橙	にがい・黄橙	橙	2mm以下の灰白・黒色光沢粒少し。	
97	SA3	壺	胴部～底部	(5.6)				ナデ	ハケ目 ナデ	橙	にがい・黄橙	黒	5mm以下の白色粒・2cm以下の赤褐色粒 少し。	
98	SA3	壺	口縁部					縦, 斜方向のナデ	ナデ	にがい・橙	にがい・黄橙 灰	黒	5mm以下の黒色粒。	
99	SA3	壺	底部	(3.0)				縦方向の工具ナデ	ナデ	淡黄	暗灰黄		2mm以下の褐色粒, 1mm以下の白色・赤 褐色粒。	
100	SA3	壺	胴部					丁寧なナデ	丁寧なナデ	橙	にがい・黄橙		3mm以下の灰白色・褐色・緑灰褐色粒。	
101	SA3	高杯	坪部					丁寧なナデ	ナデ	にがい・黄橙	灰白		6mm以下のにがい・黄褐色粒, 2mm以下 のにがい・褐色・緑灰褐色粒。	
102	SA4	壺	口縁部～胴部	(17.3)				ナデ 縦, 斜方向のハケ目	縦, 斜方向のハケ目	にがい・橙	にがい・黄橙		4mm以下の赤褐色・灰褐色粒多い, 1mm 以下の透明粒わずかに, 外周口縁から6cm の位置に大粒あり。	
103	SA4	小型壺	口縁部～底部	(10.8)			線刻放射文	ナデ 縦方向のミガキ全	ナデ	灰白 灰黄	灰白 灰黄		5mm以下の褐色粒。	
104	SA4	壺	胴部					ミガキ	ハケ目	にがい・橙 黒	黒		2mm以下の橙・灰褐色粒。	
105	SA4	鉢	底部	(4.1)				ハケ目のらコナナデ 底跡ナデ	ナデ	にがい・橙 淡黄橙	淡黄橙		4mm以下の灰褐色粒。	

第6表 遺物観察表(4)

遺物 番号	位置	器種	部位	法量 (cm)		文様	調整		色調		胎土	正装	備考
				口径	底径		器高	外面	内面	外面			
106	SA4	高坏	坏部	20.0			ナデ	縦方向のミダキ	橙 にぶい黄橙	橙	2mm以下の灰白・灰・褐色が多い。		
107	SA4	高坏	坏部				ナデ	ナデ	浅黄橙	にぶい黄橙	5mm以下の灰・褐色。	外面黒化	
108	SA4	高坏	坏部				ナデ	縦、斜方向のナデ	にぶい黄橙	橙	2mm以下の灰白色。	外面スス付着	
109	SA5	甕	口縁部～胴部			口唇部中央に注線	縦方向のハケ目	ハケ目のらナデ	にぶい黄 黒	にぶい橙	3mm以下の灰白色。		
110	SA5	甕	口縁部～胴部	20.4			ヘラナデ	ハケ目のらナデ	橙	橙	2mm以下の白色透明・赤褐色。4mm以下の透明粒わずか。		
111	SA5	甕	口縁部				ナデ	縦方向のナデ	にぶい橙	にぶい黄橙	5mm以下の茶褐色が多い。2mm以下の灰濁・乳白・透明粒わずか。	スス付着	
112	SA5	甕	胴部				縦、横、斜方向のハケ目	横方向のハケ目 斜方向のナデ	淡黄	にぶい黄橙	2mm以下の茶濁・灰濁・透明・乳白色が多い。		
113	SA5	高坏	坏部				ナデ	ナデ	にぶい黄橙	灰黄濁	2mm以下の灰白・褐色。		
114	SA6	甕	口縁部～底部	20.2	4.7	20.6	ハケ目のらナデ	底部に工具痕 単位不明なハケ目	橙。 にぶい黄橙、黒	橙 にぶい黄、黒濁	3mm以下の灰・灰白色。	全体にスス付着、底部付近黒変	
115	SA6	甕	口縁部～底部	19.0	5.9	16.8	ハケ目のらナデ	ナデ ハケ	にぶい黄橙、橙、黒	にぶい黄橙、橙、黒濁	2mm以下の茶濁・褐色が多い。底部に10mm程度の石粒1個あり。	スス付着、黒変有り	
116	SA6	甕	胴部～底部		5.0		ハケ目のらナデ	ナデ 工具痕(底部)	にぶい橙	にぶい橙	5mm以下の茶褐色。2mm以下の灰濁粒。2mm以下の白色粒多い。	○ 黒化著しい。正装イネか	
117	SA6	甕	口縁部～底部	13.1	4.4	29.2	ハケ目のらナデ	ナデ ハケ	にぶい橙、褐色	にぶい黄橙	2mm以下の黒・灰白・褐色が多い。	○ 外面黒化	
118	SA6	甕	口縁部～底部	14.6	3.6	24.2	線刻	横、斜方向のナデ 指押さえ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	4mm以下の灰白色。2mm以下の赤濁粒。	○ スス付着、正装イネか	
119	SA6	甕	口縁部～底部	10.7	4.3	34.7	ハケのらナデ ミダキ	ヘラナデ	浅黄濁	浅黄濁	3mm以下の赤濁粒。2mm以下の白色粒。	外面スス付着	
120	SA6	甕	口縁部～胴部	14.6			ヘラナデ	ヘラナデ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	2mm以下の黄灰色。2mm以下の灰濁粒。		
121	SA6	甕	口縁部～底部	(12.2)	5.1	26.6	丁寧なナデ 指押さえ	斜方向のハケ目 指押さえ	浅黄濁	淡黄	4mm以下の茶濁・灰白色が多い。	外面スス付着	
122	SA6	甕	口縁部～底部	(17.2)	(9.7)	10.6	丁寧なナデ ナデ	ハケの横ナデ	にぶい黄橙 橙	にぶい黄橙 黒濁	7mm以下の灰白・褐色が多い。	外面スス付着、黒台付き	
123	SA6	鉢	口縁部～底部	13.8	4.7	11.8	ハケ目のらナデ	ヘラナデ ハケ目	橙 にぶい赤濁	橙	3mm以下の灰・白色粒多い。1mm以下の赤色粒あり。	○ 内面一部黒化、正装：外面胴部下部	
124	SA6	甕	胴部～底部		4.0		ハケのらナデ	ハケ目のらナデ 指押さえ	にぶい赤濁、黒濁	暗灰黄 黒濁	2mm以下の灰・灰白・褐色が多い。7mm程度の石1個。	全体にスス付着	
125	SA6	高坏	坏部	14.8			ハケ・工具ナデ 指押さえ	工具ナデの横ナデ 指押さえ	にぶい黄橙 橙	にぶい黄橙 褐色	2mm以下の白色粒。	○ 外面スス付着、内面黒変	
126	SA7	甕	口縁部～胴部	(12.0)			ハケ目のらナデ 縦方向のハケ目のらナデ 指押さえ	横方向のハケ目の横ナデ 斜方向のハケ目 ナデ	橙	灰黄	3mm以下の灰濁・茶濁・白色粒。1cm以下の透明粒多い。	○ 正装：胴部内面(イネ、粒数数有り)	
127	SA7	高坏	胴部				ミダキ	縦方向のナデ 工具痕	にぶい黄橙	にぶい黄橙	2mm以下の灰・灰・白色粒多い。	通か有り、外面スス付着	
128	SA7	高坏	胴部				丁寧なナデ	縦方向のナデ	にぶい橙	にぶい黄橙	1mm以下の灰白色。	黒変	
129	SA8	甕	口縁部～胴部	(16.0)			縦方向のハケ目の横ナデ	工具ナデの横ナデ 指押さえ	にぶい黄橙 橙	浅黄濁	5mm以下の褐色・灰色。2mm以下の褐色・灰色粒多い。	外面スス付着	
130	SA8	甕	胴部～底部	(5.0)			縦方向のハケ目 指押さえ	縦方向のハケ目 指押さえ	にぶい黄橙	浅黄濁 灰黄濁	5mm以下の灰・乳白色粒。2mm以下の灰・乳白色粒。	129と同い、外面スス付着、内面黒変	
131	SA8	甕	胴部～底部	(6.0)			斜方向のハケ目 の横ミダキ	斜方向のハケの横 指押さえ	にぶい黄橙	黄灰	4mm以下の灰・灰白色が多い。	○ 外面スス付着	
132	SA8	甕	胴部～底部	(5.0)			ハケの横丁寧ナデ	工具による横いナデ	濁 灰白	灰黄 黄灰	6mm以下の灰白・灰白色が多い。	外面スス付着、内面全体黒変、黒化灰濁	
133	SA8	甕	口縁部～胴部				ハケ目の横ナデ	縦方向のナデ 工具痕	淡黄	淡黄	5mm以下の茶褐色粒と1mm以下の透明粒が多い。2mm以下の白・灰褐色粒少し。1mm以下の赤色光沢粒ごくわずか。		

第6表 遺物観察表(5)

遺物 番号	位置	器種	部位	質量 (cm)			文様	調整		色調		胎土	正底	備考
				口径	底径	器高		外面	内面	外面	内面			
134	SA8	壺	頸部～胴部					ナブ・斜方向のハケ目	横方向のハケ目の後ナブ	淡黄	にがい黄	4mm以下の乳白・茶色・透明粒多い。		外面風化気味
135	SA8	壺	頸部～胴部					丁寧なナブ	ナブ 指押さえ	淡黄	淡黄	2mm以下の赤褐色粒と1mm以下の赤褐色粒多い。2mm以下の白・灰褐色粒。1mm以下の黒色粒わずらい。		外面風化気味
136	SA8	高坏	坏部					ナブ	丁寧なミガキ 工具痕	にがい黄	にがい黄	3mm以下の赤褐色粒と2mm以下の黒色光沢粒多い。2mm以下の灰褐色粒。1mm以下の透明粒少し。	○	外面風化気味
137	SA9	壺	口縁部～底部	φ2.80	5.3	30.5		口縁部コナブ 縦・斜方向のハケ目	口縁部コナブ 横・斜方向のハケ目	にがい黄	にがい黄緑	3mm以下の赤・灰褐色粒多い。		
138	SA9	壺	口縁部	(13.6)				工具ナブ 縦方向のハケ目 斜方向のハケ目	工具ナブ 縦方向のハケ目 斜方向のハケ目	黄	にがい黄	3mm以下の赤・灰白・灰褐色粒多い。		
139	SA9	高坏	坏部	φ6.00			四角型浮文 移欠貼付文	斜方向のハケ目の後 縦方向のミガキ	縦・斜方向のミガキ	にがい黄緑	黄	2mm以下の赤・褐色・灰白・灰褐色。透明な光沢粒少し。		
140	SA9	長頸壺	口縁部～胴部	φ9.0				ナブ 丁寧なナブ	ナブ	淡黄緑	にがい黄緑	6mm以下の赤・灰褐色粒。		外面風化気味
141	SA9	長頸壺	頸部～胴部					丁寧なナブ	ナブ	淡黄緑	淡黄緑	6mm以下の赤褐色粒。		
142	SA9	鉢	底部		5.8			ハケ目の後ミガキ	ハケ目	淡黄緑	黒	灰褐色		外面風化気味・黒底。内面風化著しい
143	SA9	高坏	坏部					横・斜方向のミガキ	縦方向のミガキ	黄	淡黄緑	6mm以下の黒褐色粒。2mm以下の褐色粒。		
144	SA9	高坏	口縁部					丁寧なナブ	丁寧なナブ	黄	黄	2mm以下の赤・灰褐色粒。		内面工具痕有り
145	SA9	高坏	坏部					ミガキ	丁寧なナブ	黄	黄			内面風化
146	SA9	高坏	坏部					斜方向ハケ目の後ナブ	斜方向ハケ目の ら丁寧なナブ	上、淡黄緑 下、黄	上、淡黄 下黄	3mm以下の灰白・茶褐色粒。		
147	SA9	高坏	胴部					ハケ目のら丁寧なナブ	ハケ目のらナブ	淡黄	黄	5mm以下の赤褐色粒少し。1mm以下の灰白・白色のやや大きい粒。		穿孔有り
148	SA9	器台	胴部		14.0			ミガキ	ハケ目	にがい黄 黒	にがい黄緑	2mm以下の褐色粒が所々にある。		穿孔有り、外面黒底
149	SA9	高坏	坏部					ミガキ	丁寧なナブ	淡黄	淡黄緑	3mm以下の褐色・橙褐色粒。		外面黒底
150	SA10	壺	口縁部～底部	13.0	(4.3)	(20.8)		ナブ 指押さえ	横方向のハケ目 ナブ	灰黄 にがい黄緑	にがい黄緑	3mm以下の白・茶色透明・赤褐色粒。	○	種子圧痕が・外面胴部・内面胴部
151	SA10	壺	口縁部～底部	16.0	4.6	20.0		ハケ目のらナブ 指押さえ	指押さえ	灰褐色 灰黄緑	淡黄緑	2mm以下の赤褐色粒多い。1mm以下の白・白色透明粒。		外面一部黒底、内面一部黒底
152	SA10	壺	口縁部～底部	(14.2)	(4.3)	(18.7)		ハケナブ 指押さえ	ナブ	灰黄緑	にがい黄緑	3mm以下の白・灰褐色粒多い。2mm以下の黒・褐色粒。	○	内面胴部圧痕有り、内外面風化の高不明瞭
153	SA10	小型壺	口縁部～底部	11.8	3.8	12.4		ハケナブ 縦方向のハケ目のらナブ	ハケ目のらナブ	にがい黄緑	にがい黄緑 黒	1mm以下の赤褐色・光沢粒少し。		内面黒底
154	SA10	壺	口縁部～胴部					ハケ目の後ナブ	ナブ	淡黄緑	にがい黄緑	褐色な灰・褐色粒多い。5mm以下の粒少し。	○	黒底 内面：風化ざみ
155	SA10	壺	口縁部～胴部	(9.2)				ハケ目の後ナブ	ハケ目	灰白	灰黄	3mm以下の褐色・灰褐色粒多い。		外面風化気味
156	SA10	壺	口縁部～胴部	(13.7)				ナブ ハケ目	ハケ目	黄	にがい黄	3mm以下の灰白・灰褐色粒多い。		スズ付着、口唇部に粘土の跡
157	SA10	壺	口縁部～胴部	(7.2)				工具ナブ ハケ目	ハケ目のらナブ	にがい黄	にがい黄緑	2mm以下の赤褐色粒多い。1mm以下の灰褐色粒。		内面風化著しい
158	SA10	壺	頸部～底部					ハケ目の後ナブか ナブ	不規則なハケ目 ナブ	灰白	黒	3mm以下の灰白・灰褐色粒多い。		外面一部スズ付着
159	SA10	壺	胴部～底部	8.2				ナブ 指押さえ	ハケ目のらナブ	黄 淡黄緑	淡黄緑	3mm以下の赤褐色粒多い。3mm以下の灰白色粒。		外面風化ざみの為不明瞭
160	SA10	壺	胴部～底部	5.2)				ハケ目の後ナブ 指押さえ	工具ナブ	にがい黄緑	暗灰黄	5mm以下の乳白色粒。3mm以下の褐色褐色粒。2mm以下の赤褐色粒。	○	内面風化が著しい。正底：胴部外面
161	SA10	壺	胴部～底部	3.0)				ハケ目のらナブ 指押さえ	黒底著しいが工具ナブ	にがい黄緑	にがい黄	4mm以下の赤褐色・白・透明粒多い。2mm以下の赤褐色・黒色光沢粒少し。		内面風化著しい

第6表 遺物観察表(6)

遺物番号	位置	器種	部位	質量 (cm)			文様	調整		色調		胎土	正産	備考
				口径	底径	器高		外面	内面	外面	内面			
162	SA10	甕	底部		7.59			ハケ目の後ナデ	ナデ	浅黄	にぶい黄	4mm以下の赤黄・白・灰褐色。1mm以下の透明粒多い。		
163	SA10	甕	底部	4.1				ナデ	ナデ 指押さえ	浅黄橙	灰黄	4mm以下の赤・黄・灰・白・褐色。1mm以下の透明粒あり。		
164	SA10	甕	底部	6.3				ハケナデか 指おさえ	ナデ 指おさえ	灰黄橙	にぶい黄	2mm以下の白・灰色が多い。4mm以下の褐色粒。1mm以下の黒色充光粒少し。	○	酸化が著しい
165	SA10	甕	底部	5.6				ハケナデか 指おさえ	ナデ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	2mm以下の赤褐色粒。1mm以下の白色透明粒。		外面一部黒炭。全体的に酸化が著しい。
166	SA10	甕	口縁部～胴部	6.8				ハケ目	ハケ目の後ナデ	にぶい黄	にぶい黄	1mm以下の灰白・暗褐・乳白色粒。		
167	SA10	長頸壺	口縁部～胴部	11.49				ミガキ	横方向のナデ	にぶい黄橙	にぶい黄	2mm以下の褐色粒。1mm以下の褐色粒。		一部黒炭化気味。
168	SA10	甕	胴部					ミガキ	横方向の工具ナデ	にぶい黄橙	黄灰	1.5mm以下の赤褐・褐色粒。	○	酸化が著しい
169	SA10	甕	胴部～胴部					黒化不明瞭	黒化不明瞭	浅黄橙	黄灰	3mm以下のにぶい黄・乳白・褐色粒。		酸化が著しい
170	SA10	甕	底部	4.6				ナデ	斜線の為調整不明	浅黄橙	斜線のため色不明	2mm以下の黄・灰・褐色粒。		
171	SA10	甕	口縁部～首部	6.8				ハケ目の後ミガキ	横方向のナデ ハケ目	にぶい黄橙	にぶい黄橙	3mm以下の灰褐・灰白・黄褐色粒。	○	外面・胴部外面
172	SA10	甕	胴部					ハケ目のら丁寧ナデ	ハケ目	にぶい黄橙	にぶい黄橙	3mm以下の透明灰白・乳白・赤褐・明色粒。		外面黒炭気味気味。内面黒化。
173	SA10	甕	胴部～底部	2.9				ハケ目のらミガキ ナデ	ハケ目のらナデ	にぶい黄	にぶい黄	2mm以下の黄・灰色粒。		外面に黒が所着炭。内面黒化。
174	SA10	鉢	胴部～底部	長7.1 幅6.6				丁寧な工具ナデか	ハケ目の後ナデ	浅黄橙	褐灰	4mm以下の灰白・黄・灰色粒多い。	○	全体が黒炭
175	SA10	小型鉢	口縁部～底部	2.8	5.3			ナデ	ハケ目のらナデ 指押さえ	にぶい黄	にぶい黄	2mm以下の黄・灰色粒多い。2mm以下の褐色粒少し。		酸化の為不明瞭
176	SA10	鉢	胴部～底部	6.4				ナデか 指押さえ	ナデ 指押さえ	浅黄	灰白	3mm以下のにぶい黄・乳白色粒。2.5mm以下の灰色粒。2mm以下の褐色粒。		外面黒化著しい。
177	SA10	鉢	胴部～底部	4.8				ハケ目のら丁寧ナデか	横・斜方向のハケ目 ナデ	にぶい黄	にぶい黄	2.5mm以下の褐色粒。2mm以下の褐色粒。1mm以下の乳白色粒。		外面黒炭。酸化著しい。
178	SA10	高杯	胴部					ミガキか	ハケ目のら丁寧ナデ	にぶい黄	にぶい黄	2mm以下の灰色粒多い。2mm以下の褐色充光粒少し。		外面黒炭有り
179	SA11	甕	口縁部	12.32			編組並文 列形洋文 刻み入る様取洋文	ナデ	ナデ	にぶい黄	にぶい黄	3mm以下の黄・灰白色粒。		
180	SA11	鉢	口縁部～胴部	14.6				ナデ 縦方向のミガキ	横方向のナデ	にぶい黄	にぶい黄	1mm以下の浮白色・褐色粒。		外面黒炭有り
181	SA11	高杯	胴部					ナデ	ミガキ	橙	橙	2mm以下の灰色粒多い。2mm以下の黄・黒・黒色充光粒。		
182	SA11	高杯	胴部					ミガキ	ナデ 指押さえ	橙	にぶい黄	2mm以下の浮白色・浅黄橙・褐色粒。		先端部に赤黄透孔・貫通孔各一ヶ所有り
183	SA12	甕	口縁部	13.1				工具ナデのら指ナデ	横方向のナデ	橙	灰	2mm以下の灰色粒。		酸化顯著。口縁胎土のたまり
184	SA12	甕	口縁部～首部	15.1				ナデ 一部ハケ目	横・斜め方向ハケ目 のらナデ	にぶい黄	浅黄橙	4mm以下の茶褐色粒と1mm以下の透明粒多い。6mm以下の赤・黄・灰・黒・黒色充光粒わずか。		内面黒化顯著
185	SA12	甕	口縁部～胴部	10.1				ナデ	横方向ナデ ハケ目のらナデ	にぶい黄	浅黄	3.5mm以下の灰黄・黄褐色粒多い。4mm以下の赤・黄・白色粒少し。		口唇面わずかに凹凸有り
186	SA12	甕	胴部				麻刻	丁寧ナデ	斜方向のハケ目のらナデ 指おさえ	にぶい黄	にぶい黄	1mm以下の灰色粒少し。		
187	SA12	甕	口縁部～胴部	11.0				ハケのらナデ	ナデ	にぶい黄	灰黄	1mm以下の灰白色粒少し。	○	胴部外面に正産。外面一部黒炭
188	SA12	甕	口縁部～底部	7.2	3.2	11.3		丁寧ナデ 一部縦方向のミガキ	横方向のナデ 指・工具の押さえ	橙	にぶい黄	2mm以下の灰白色粒少し。	○	SA16
189	SA12	甕	胴部～底部					ハケ目のら丁寧ナデ	横・斜方向のナデ 指押さえ	浅黄橙	橙	3mm以下の灰白・赤褐・白・灰色粒多い。		一部メス付着

第6表 遺物観察表(7)

遺物 番号	位置	器種	部位	質量 (cm)			文様	調整		色調		胎土	正産	備考
				口径	口径	器高		外面	内面	外面	内面			
190	SA12	壺	胴部					縦、斜方向ハケ目 のちぎがみ	縦むす 斜方向ハケ目	にぶい黄緑	にぶい黄緑	5mm以下の灰・灰白色粒多い、2mm以下の にぶい黄緑色粒多い。		
191	SA12	壺	胴部				線刻	ミガキの後縁部	縦方向ハケ目	にぶい黄 刷灰	にぶい赤黒	2mm以下の紫・褐色粒多い。		
192	SA12	壺	口縁部					ハケ目 ナデ	ハケ目のちナデ	にぶい黄緑 黒	にぶい黄緑	2mm以下の赤褐色粒、1mm以下の灰白色 粒。		外面黒化有り
193	SA12	鉢	口縁部～胴部	(12.1)				縦方向ハケ目のちナデ	横方向ハケ目のちナデ	黒	黒	6mm以下の灰白色粒多い、3mm以下の褐 白・黒光沢粒少し。		
194	SA12	壺	胴部～底部		3.8			ハケ目 工具ナデ	斜位のハケ目 ナデ	浅黄緑 刷灰	明緑	2mm以下の白・褐色粒多い、3mm以下の 灰・黒色光沢粒少し。		○ 外面胴部に正産
195	SA12	壺	胴部～底部		4.3			縦、横、斜のハケ目	ハケ目	黒	黒	4mm以下の灰・白色粒多い、3mm以下の 紫・黒色光沢粒わずか。		
196	SA12	鉢	胴部～底部		5.6			ハケ目のちナデ 指押え	ハケ目 横方向のナデ	にぶい黄 黒	にぶい黄	2mm以下の黒色透明光沢・乳白色・黄灰・ 赤褐色粒。		外面黒化有り
197	SA12	鉢	胴部～底部		4.2			ミガキ 指押え	ハケ目、ミガキ、 ナデ	にぶい赤黒	灰	3mm以下の灰・灰白・赤褐色粒、7mm以下の 灰白の石。		外面底部黒化、内面黒化
198	SA12	鉢	胴部～底部		3.0			ハケ目のちミガキ ナデ	丁寧なナデ	灰黄緑	にぶい黄緑	3mm以下の黒緑・にぶい黄緑粒、1mm以 下の灰白粒。		
199	SA12	鉢	底部		(6.9)			ハケ目のちナデ	ナデ	にぶい黄緑	にぶい黄緑	2mm以下の褐・灰白色粒多い、2mm以下の 紫・黒色光沢粒わずか。		○ 外面底部に正産
200	SA12	鉢	胴部～底部					縦方向ハケ目のちナデ	ナデ	にぶい黄	黒	2mm以下の赤褐色粒多い、刷灰・灰白 粒。		外面黒化
201	SA12	鉢	胴部～底部		4.7			ハケ目の丁寧なミガキ ナデ	ナデ	にぶい黄	にぶい黄緑	3mm以下の灰黄緑・浅黄緑・褐色粒色。 光沢粒わずか。		外面黒化有り
202	SA12	鉢	胴部～底部		3.5(2.2)			縦方向ハケ目	斜方向ハケ目のちナデ	浅黄緑	黄緑	2mm以下の灰・灰白色粒多い、数顆の黒色 光沢粒わずか。		○ 黒化顕著、正産；底部内面
203	SA12	鉢	胴部～底部		3.2			縦方向ハケ目のちナデ	ナデ	浅黄緑	にぶい黄緑	2mm以下の灰・褐色粒多い、黒色粒少し。		○ 黒化顕著、正産；底部内面
204	SA12	壺	胴部～底部					ハケ 工具ナデ	ハケ目	にぶい黄緑	にぶい黄緑	5mm大の赤褐色の小石、3mm以下の黄 灰・灰白・灰黄粒。		底部黒化
205	SA12	高杯	杯部					ハケのちナデ	横、縦方向の 丁寧なナデ	にぶい黄	にぶい黄	3mm以下の黄灰・にぶい赤褐色粒。		
206	SA12	高杯	胴部～底部		(20.2)			ミガキ 丁寧なナデ	ナデ 粘土の絞り	にぶい黄	にぶい黄	4mm以下の灰白色粒、2mm以下のにぶい 赤褐色粒。		透かし有り
207	SA12	高杯	胴部		(21.2)			縦方向ハケ目のちナデ	ハケ目のちナデ	黒 浅黄緑	黒	3mm以下の灰褐色粒多い、2mm以下の白 色粒少し、微細な黒色光沢粒わずか。		外面一部強い黒化
208	SA12	高杯	胴部		(18.2)			ナデ	斜方向ハケ目 斜方向ハケ目 のちナデ	にぶい黄緑	にぶい黄緑	2mm以下の乳白色・黄褐色粒。		透かし有り、外面黒化
209	SA13	壺	口縁部～底部	(22.6)		30.5		ハケ目の後ナデ	ハケ目のちナデ	浅黄緑	浅黄	3mm以下の褐・灰白色粒多い。		一部スチ付着、黒化で調整不明確
210	SA13	壺	口縁部～胴部	(25.5)				縦方向ハケ目 指押え	ハケ目の微細いナデ	黒 にぶい黄緑	にぶい黄緑	4mm以下の褐色粒、灰色の大サイズの粒 多い。		一部スチ付着、粘土の小入り有り
211	SA13	壺	口縁部		(18.0)		円形・棒状浮文	ナデ	黒化不明瞭	浅黄緑	浅黄緑	2mm以下の赤褐色・褐色粒多い。		黒化著しい
212	SA13	小型壺	口縁部					ハケ目のちナデ	ハケ目	黒	黒	2mm以下の赤褐色・灰白色粒。		
213	SA13	壺	底部		(4.7)			ナデ 一部工具痕	指押え	浅黄緑 刷灰	灰黄緑	4mm以下のにぶい赤黒・灰色粒。		一部スチ付着、内面黒化顕著、胴部に 貫通した黒化有り
214	SA13	壺	胴部～底部		5.4			縦方向ハケ目 指押え	ナデ 縦・斜方向ハケ目	浅黄緑	にぶい黄緑 黒	5mm以下の灰・褐色粒多い、透明光沢 粒。		○ 内面全体黒化、外面黒化顕著
215	SA13	高杯	口縁部					ナデ ミガキ	黒化不明瞭 黒化不明瞭 ミガキ	灰白	にぶい黄緑 灰黄 緑	2mm以下の褐色粒多い。		黒化著しい
216	SA13	高杯	杯部					黒化不明瞭	黒化不明瞭	灰白	黒	2mm以下の褐・灰白色粒多い。		黒化著しい
217	SA13	高杯	杯部					黒化不明瞭	黒化不明瞭	灰白	灰白	2mm以下の褐・灰白色粒多い。		黒化著しい
218	SA14	壺	口縁部～胴部		20.7			ナデ	工具ナデ	黒	黒	2mm以下の黒色光沢粒・乳白色粒・透明 粒多い、3mm以下の灰赤・赤褐色粒少 し。		黒化著しい、スチ付着

第6表 遺物観察表(8)

遺物 番号	位置	器種	部位	法量 (cm)		文様	調整		色調		胎土	正産	備考	
				口径	底径		器高	外面	内面	外面				内面
219	SA14	甕	底部		1.0			ハクのろしナデ	工具ナデ	に灰・黄褐色	黒褐色			
220	SA15	風形土器	肩部～底部	2.8				ナデの強めナデ	ナデ 指押さえ	に灰・黄褐色	に灰・黄褐色		外面一部黒炭、上下割々に伴う結合が	
221	SA15	甕	肩部			ナゲキ目線の溝が 不規則に入る		指押さえ	ナデ	に灰・黄褐色	に灰・黄褐色		スス付着	
222	SA15	甕	口縁部～胴部	15.4				ハケ目	工具ナデ ハケ目	灰黄褐色	黒褐色		スス付着、黒炭	
223	SA15	甕	胴部～底部					ハケ目	ナデ	灰黄褐色	黒褐色		スス付着、黒炭	
224	SA15	甕	口縁部～胴部	14.0				ナデ ハケ目	工具ナデ	明黄褐色	に灰・黄褐色		○ 20mm以下の灰白・赤褐色色、1mm以下の 黒炭	
225	SA15	甕	胴部～底部	3.0				ヘラナデ	工具ナデ	に灰・黄褐色	に灰・黄褐色		黒炭、一部スス付着	
226	SA15	甕	口縁部～底部	13.5	1.7	18.6		ナデ	指押さえ ナデ	黒褐色	に灰・黄褐色		○ 20mm以下の灰白・赤褐色(不明)多 い、20mm以下の灰・褐色粒わずら	
227	SA15	甕	口縁部～底部	12.5	12.0	17.1		ナデ	工具ナデ	に灰・黄褐色	灰褐色		○ 外面黒炭著しい、20Gに陥る	
228	SA15	小型甕	口縁部～底部	12.5	3.1	15.8		丁寧なナデ 一部指押さえ	ナデ	に灰・黄褐色	に灰・黄褐色		20G-22Gによく陥る、全体スス付着、内 面黒炭著しい	
229	SA15	甕	胴部～底部		長2.4 2.0			ハケ目 ナデ	工具による粗いナデ	に灰・黄褐色	に灰・黄褐色		○ 黒炭、スス付着、底部積円形	
230	SA15	甕	口縁部～胴部	16.5			沈線(口唇部)	ナデ 一部工具痕	ナデ	黒褐色	黄褐色		スス付着	
231	SA15	甕	口縁部～胴部	15.0				ナデ ハケ目	指おさえ 粗い工具ナデ	黒	に灰・黄褐色		全体スス付着、粘土のたるみ有り	
232	SA15	甕	胴部～底部	3.8				ハケ目の後ナデ	ハケ目 粗いナデ	に灰・黄褐色	灰黄褐色		スス付着、内面黒化の弱不明瞭	
233	SA15	甕	胴部～底部	6.1				工具ナデ	ナデ	に灰・黄褐色	黒褐色		○ 圧痕(内外面)、外面底部成形肌	
234	SA16	甕	口縁部～底部	16.1	3.5	26.2		横方向のナデ 縦方向のハケ目	横・斜方向のハケ目 ナデ 指押さえ	に灰・黄褐色	に灰・黄褐色		7.5mm以下の乳白色粒、5mm以下の灰黄 褐色、3.5mm以下の透明粒、20mm以下黒色 光沢粒あり、30mm以下の黄褐色・赤褐色 粒わずら	
235	SA16	甕	口縁部～底部	2.1				縦方向のハケ目	ナデ	灰白	に灰・黄褐色	灰白	黒褐色	○ 黒炭、全体にスス付着、圧痕、胴部内面
236	SA16	甕	口縁部～胴部	15.0				粗いナデ	ナデ 指押さえ	浅黄褐色	に灰・黄褐色	黒褐色		外面黒炭
237	SA16	甕	口縁部	11.2			聯線状文	ナデ	黒化不明瞭だが 横方向のナデか	橙	に灰・黄褐色	黒褐色		内面黒炭著しい
238	SA16	甕	胴部					黒化不明瞭	黒化不明瞭	橙	に灰・黄褐色	黒褐色		黒炭著しい
239	SA16	鉢	胴部～底部	2.2				縦方向の工具ナデ	ナデ 指押さえ	浅黄褐色	黒褐色		スス付着	
240	SA16	鉢	胴部～底部	2.2				不定方向の丁寧なナデ	ナデ	浅黄褐色	黒褐色		黒炭	
241	SA16	鉢	口縁部～底部	12.5	3.7	10.5		ナデ	工具ナデ 指押さえ	に灰・黄褐色	黒褐色		○ 黒炭、黒化気味、圧痕、胴部外面 粒、微細な光沢粒	
242	SA17	甕	胴部～底部	0.7				横方向のハケ目 縦・斜方向のナデ	ナデ 縦方向の工具痕	に灰・黄褐色	黒褐色		スス付着	
243	SA17	甕	口縁部～底部				斜目目夷帯	横方向のナデ 縦方向のハケ目	ナデ	浅黄褐色	に灰・黄褐色	浅黄褐色		○ 一部スス付着、内面一部黒炭、圧痕； 胴部外面・夷帯の1粒
244	SA17	甕	口縁部				聯線状文	ナデ	横方向のナデ	に灰・黄褐色	に灰・黄褐色		2.8mm以下のに灰・黄褐色粒、0.5mm以下の 褐色粒粒少し	

第6表 遺物観察表(9)

遺物番号	位置	器種	部位	法量 (cm)			文様	調整		色調		胎土	正産	備考	
				口径	底径	器高		外面	内面	外面	内面				
245	SA17	甕	胴部～底部	4.1				縦方向のハケ目のナデ	横方向のハケ目のナデ 指押さえ	橙	にぶい濁	4mm以下の灰色粒, 2mm以下の乳白色粒多し, 2mm以下の褐色粒少し。		黒炭, スト付着, 風化著しい	
246	SA17	甕	胴部～底部	3.4				工具ナデ	縦方向のナデ	にぶい黄橙 黒灰	灰黄橙	4mm以下の灰色粒, 2mm以下の灰白色・褐色粒。			
247	SA17	甕	底部	(5.6)				ナデ	丁寧なナデ	灰白	黄灰	3.5mm以下の褐色粒, 2mm以下の灰白色粒。			
248	SA17	甕	口縁部～胴部					横・斜方向の工具ナデ	工具ナデ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	3mm以下の赤褐色粒, 1mm以下の灰色粒。	○	圧痕・内面	
249	SA17	甕	口縁部～胴部					縦方向のヘラナデ	横方向の工具ナデ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	2mm以下の赤褐色粒多し, 2mm以下の灰白色粒。			
250	SA17	甕	口縁部					ナデ	ナデ	淡黄	淡黄	4mm以下の褐色粒, 2.5mm以下の灰白色粒。			
251	SA17	高坏	坏部					ハケ目の後ヒギキ	ハケ目の後ヒギキ	淡黄橙	灰黄	3mm以下のきめ細かな灰色粒少し。			
252	SA18	小型埴	口縁部～底部	(9.1)	4.6	9.8		ナデ	ナデ	淡黄橙	淡黄橙	2mm以下の褐色・褐色粒多し。		一部黒炭, 底部外面に意匠的な刷	
253	SA18	小型埴	口縁部～底部	(8.8)	3.9	8.8		ナデ 一部工具痕	工具ナデ	にぶい橙	黒灰	3mm以下の褐色粒, 4mm以下の灰色・灰白色粒, 黒炭透明黒色光沢粒。		一部黒炭, 底部外面に意匠的な刷	
254	SA18	甕	口縁部～胴部					横・縦方向のナデ	ハケ目の後ナデ	にぶい黄橙	にぶい黄橙	2mm以下の灰色粒多し, 褐色粒少し。			
255	SA18	甕	胴部～底部	1.6				縦方向のハケ目の後ナデ	横・縦方向のハケ目の のナデ	橙	明褐	2mm以下の乳白色・灰色粒多し, 1mm以下の黒色光沢粒少し。		外面スト付着・黒炭気味, 内面風化著しい	
256	SA18	高坏	坏部					ナデ・横方向のハケ目	ナデ	橙	淡黄橙	1mm以下の褐色不透明粒・やや黄色味のある鉱物粒。		外・内面風化気味	
257	SA18	高坏	胴部～底部	11.5				横方向の丁寧なナデ 指押さえ	ナデ	橙	明黄橙	1.5mm以下の黒色鉱光沢の角状鉱物粒, 1mm以下の褐色透明・白色不透明の鉱物粒。			
258	SC1	甕	胴部～底部	6.6				粗いナデ 縦方向の指押さえ	縦・横方向に工具ナデ	淡黄, 黒炭	にぶい黄	黒	3mm以下の灰色粒多し。	外面一部黒炭・風化気味, 内面全体黒炭	
259	SC1	甕	底部					工具による斜方向のナデ	斜方向のナデ・工具ナデ	橙	橙	2mm以下の赤褐色・灰白色・褐色粒。			
260	SC1	甕	胴部					丁寧なナデ	ナデ	淡黄橙	にぶい黄橙	1mm以下の褐色・褐色粒多し。			
261	SC1	高坏	坏部					短目	丁寧なナデ	ナデ	明黄橙	淡黄橙	2mm以下の白色不透明・黒色透明・黒色鉱光沢の角状鉱物粒。		
262	SC1	高坏	坏部					横方向ナデの後ヒギキ	ヒギキ	橙	橙	1mm以下のにぶい赤褐色・淡黄褐色粒。			
263	SA20	甕	胴部～底部	(4.6)				ハケ目の後ヒギキ	横・斜・縦方向のハケ目	淡黄橙	黄橙	1cm以下の赤褐色粒, 3mm以下の灰白色・赤褐色・褐色粒, 1mm以下の透明光沢粒。			
264	SA20	小型埴	口縁部～底部	9.9	3.1	8.2		横方向のナデ	横方向のナデ	黄橙	橙	3mm以下の赤褐色・灰白色・灰色粒。		外面黒炭有り	
265	SA20	小型埴	口縁部～底部	(7.30)	2.5	6.1		ナデ	ナデ	橙	にぶい黄橙	3mm以下の赤褐色・褐色粒とくわすか, 2mm以下の褐色・乳白色粒少し。			
266	SA20	小型埴	口縁部～胴部	(11.0)				ナデ	横方向のナデ	にぶい黄橙	明黄橙	2mm以下の赤褐色・灰白色粒。		外面一部黒炭, 内面風化気味	
267	SA20	鉢	口縁部～胴部					丁寧なナデ ヒギキ	ヒギキ	橙	橙	4mm以下の暗赤褐色・褐色粒。			
268	SA20	部合	肩部～胴部	20.9	(18.5)	18.7		縦方向のハケ目	横方向のナデ	橙 淡黄橙	赤褐 淡黄橙	3mm以下の褐色粒・乳白色・赤褐色・褐色粒多し。		透かし・胴部に5.6cm	
269	SA20	コップ類 土器	口縁部～底部	7.1	4.7	8.8		ナデ 縦方向のヒギキ	横方向のナデ	橙	橙	4mm以下の褐色粒, 3mm以下の赤褐色・灰白色粒, 1mm以下の褐色粒。		一部黒炭, 底部穿孔有り	
270	SA21	甕	口縁部～胴部					横方向ナデ	横・斜方向のナデ	黒褐	黒褐	6mm以下の灰白色粒, 3mm以下の灰白色粒, 1mm以下の赤褐色粒少し, 1mm以下の灰白色粒多し。		黒化	
271	SA21	甕	胴部～底部	4.1				縦方向の工具ナデ	ナデ	淡黄	黄灰	4mm以下の灰白色・明黄褐色粒多し, 3mm以下の褐色粒少し。		外面一部黒炭, 内面一部黒炭・風化気味	
272	SA21	甕	胴部～胴部					ハケ目のヒギキ	ナデ	にぶい橙	黒 灰黄	4mm以下の白色・褐色粒。		外面一部黒炭	
273	SA21	甕	胴部					縦方向の工具ナデ	ナデ	にぶい黄橙 橙	にぶい黄橙 黒灰	9mm以下の白色粒, 6mm以下の褐色粒。	○	胴部下半内面に正産, 外面一部スト付着, 内面黒炭	

第6表 遺物観察表(10)

遺物 番号	位置	器種	部位	法量 (cm)			文様	調整		色調		胎土	正倉	備考
				口径	口径	器高		外面	内面	外面	内面			
274	SA21	壺	頸部～胴部					縦方向のナデ	ナデ	淡黄	灰白 褐灰	1.5mm以下の褐色・灰白色粒, 3mm以下の褐色・灰白色・灰藍色粒。		外面スス付着, 内面黒炭
275	SA21	鉢	口縁部～胴部	(14.0)				丁寧なナデ	ナデ	明黄褐色	黄	3mm以下の明褐色・褐色粒。		外面黒炭外周
276	SA21	壺	胴部～底部		(2.0)			工具ナデ	ナデ	明黄褐色	明黄褐色	3mm以下の灰白色・黒褐色・にがい赤褐色粒。	○	口縁部・胴部内面(黒炭付)
277	SA21	壺	胴部～底部		(5.0)			工具ナデ	斜方向のナゲ目	淡黄	淡黄	3mm以下の明赤褐色・灰白色粒。		内面一部黒炭, 風化気味
278	SA21	高杯	胴部～底部		(15.0)			ミガキ	ナデ	橙 明赤褐色	明赤褐色	3mm以下の茶色・乳白色粒が少し。		透かし有り
279	SA21	小型壺	口縁部～底部	9.9		10.0		縦方向のナゲ目 縦方向の工具ナデ	ハケ目のナゲ目	にがい褐色	明黄褐色	3mm以下の灰白・透明光沢粒, 2mm以下の褐色粒を少し。	○	口縁部・胴部内面黒炭のみ, 外面一部黒炭
280	SA21	小型壺	口縁部～胴部					丁寧なナデ	ナデ	にがい黄褐色	にがい黄褐色	3mm以下の褐色・白粒をわずかに。		外面黒炭化
281	SA21	小型壺	胴部～胴部					ナデ	縦・横方向のナゲ目	にがい褐色	にがい褐色	3mm以下の灰白・黄褐色粒。		
282	SA21	小型壺	口縁部～底部					指押さえ	縦・横方向のナゲ目	にがい黄褐色	にがい黄褐色	3mm以下のにがい黄褐色・灰白・褐炭粒。	○	口縁部・胴部内面
283	SA21	口径土器	口縁部～底部	6.7		3.6		指押さえ	ナデ	にがい黄褐色	橙	2mm以下の乳白色・浅黄褐色粒が多い。		外面スス付着
284	SA21	口径土器	口縁部～底部	5.9		3.4		指押さえ	ナデ	にがい褐色	にがい褐色	3mm以下の灰白粒・褐色粒。		内面に圧痕様の凹有り
285	SA22	壺	口縁部～胴部					ナデ	縦方向のナゲ目 斜・縦方向のハケ目	橙	にがい褐色	3mm以下の赤褐色粒。		外面一部スス付着
286	SA23	壺	口縁部～胴部	(19.9)				横方向, 斜方向ナゲ目 指押さえ	ナデ	橙 浅黄褐色	浅黄褐色 橙	5mm以下の乳白色粒を少し, 1.5mm以下の黒色光沢粒。	○	口縁部内面に圧痕, スス付着
287	SA23	壺	口縁部～胴部	(16.7)				ナデ	ナデ	にがい褐色 灰黄褐色	にがい黄褐色	3mm以下の乳白色粒・灰白色粒, 2mm以下の灰色・光沢粒, 3mm以下の明褐色粒。		
288	SA23	壺	底部	(4.0)				ナデ	ナデ	にがい黄褐色	褐灰	3mm以下の白色粒・褐色粒。		内面全体黒炭
289	SA23	壺	底部	5.0				粗いナデ	ナデ	浅黄	黄灰	5mm以下の灰白・乳白色粒・明褐色粒, 灰白・透明の微細黒光沢粒。		内面黒炭
290	SA23	壺	口縁部～胴部	(7.0)				斜方向ハケ目	ナデ	にがい黄褐色	褐灰	4mm以下の白色粒・褐色粒。		外面底部付着黒炭
291	SA23	壺	頸部～胴部					横方向ナゲ目	横, 縦方向の工具ナゲ目	淡黄	淡黄	2mm以下の褐色粒。		
292	SA23	鉢	胴部～底部	(2.0)				ナデ	ナデ	橙	にがい黄褐色	3mm以下の浅黄褐色・灰白色・黒褐色粒。		
293	SA23	瓶	口縁部～胴部					丁寧なナデ	ナデ	にがい黄褐色	浅黄褐色	2mm以下の灰白色・浅黄褐色・黒褐色粒を多く, 1mm以下の褐色・無色透明黒粒を少し。		
294	SA23	高杯	杯部					ハケ目の後びガキ	ナデ	浅黄褐色	浅黄褐色	4mm以下の褐色・灰色・灰白色粒。		外面風化気味
295	SA23	高杯	杯部				刻目	縦方向のナゲ目	ナデ	にがい黄褐色	にがい褐色	2mm以下の灰色粒を多く, 微細な黒色光沢粒をこぼす。		
296	SA23	高杯	脚部					ナゲの後びガキ	ナデ	橙	にがい褐色	3mm以下の灰色粒を少し, 2mm以下の黒色粒を多く・褐色粒をわずかに。		透かし有り
297	SA19	壺	口縁部～胴部	(13.0)				縦方向のナゲ目 縦方向のミガキ	ハケ目の後ナゲ目	にがい黄褐色	橙	4mm以下の灰色粒, 3.5mm以下の黄色粒を少し, 2mm以下の褐色粒, 2mm以下の灰白色粒・赤褐色粒をわずかに。		
298	SA19	鉢	口縁部～底部	(17.2)	(3.3)	8.6		ナデ ミガキ	縦, 横方向のハケ目	にがい黄褐色	にがい黄褐色	4mm以下の明褐色粒を少し, 4mm以下の灰白色粒, 1mm以下の灰色・半透明ガラス質粒。		外面一部黒炭
299	SA19	鉢	底部		2.6			丁寧なナゲ目	丁寧なナゲ目	橙	にがい黄褐色	4mm以下の明褐色・暗褐色粒を少し, 2mm以下の灰白色・黒褐色・にがい黄褐色粒を多く, 1mm以下の黒色炭化物粒1個。		
300	SA19	鉢	口縁部～胴部					ハケ目の後ナゲ目	ハケ目の後ナゲ目	橙 黒	橙	2mm以下の灰色・明褐色粒を少し, 2mm以下の灰白色粒・無色透明光沢粒。		外面一部黒炭
301	SA19	鉢	口縁部～胴部					ナゲ	横方向のハケ目	にがい褐色	橙	3mm以下の灰白色・黒褐色・赤褐色・浅黄褐色粒が多い。		
302	SA19	高杯	杯部					縦方向のナゲ目 ナゲ	丁寧なナゲ目	にがい黄褐色 黄灰	橙	3mm以下の赤褐色・にがい褐色・灰白色・黒褐色粒, 2mm以下の黒色光沢粒を少し。		外面一部黒炭

第6表 遺物観察表(11)

遺物 番号	位置	器種	部位	法量 (cm)			文様	調整		色調		胎土	正産	備考
				口径	底径	器高		外面	内面	外面	内面			
303	SA19	高坏	脚部											
304	SX1	内子状土器	受部～底部											
305	SX1	壺	胴部～底部	4.0										
306	SX1	壺	口縁部～底部	14.7	3.4	12.3								
307	SX1	鉢	口縁部～底部	(12.8)	11.1									
308	SX1	鉢	口縁部～底部	(14.2)	3.5	13.9								
309	SB3	壺	胴部～底部	5.4										
310	SB3上	壺	胴部～底部	2.9										
311	SB3上	鉢	胴部～底部	3.0										
312	SE1	須恵器	胴部											
313	SE1	須恵器	口縁部～胴部											

遺構外出土遺物

遺物 番号	位置	器種	部位	法量 (cm)			文様	調整		色調		胎土	正産	備考
				口径	底径	器高		外面	内面	外面	内面			
394	SA.6上	縄文深鉢	口縁部											
395	SA.6上	縄文深鉢	胴部											
396	SA.22上	縄文深鉢	口縁部											
397	503T	須恵器	口縁部～胴部											
398	52T	須恵器	口縁部											
399	57T	陶磁器	口縁部											
400	503T	陶磁器	口縁部～胴部											
401	503T	陶磁器	胴部～底部											
402	503T	陶磁器	胴部～底部											
403	502T	陶磁器	胴部～底部											

第6表 遺物観察表(12)

遺物 番号	器種	出土位置	石材	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重 量 (g)	備考
314	磨石	SL3	砂岩	7.3	6.3	3.1	219.5	391と同石質
315	石廬丁	SA1	ホルンフェルス	5.6	8.7	0.6	51.2	
316	砥石	SA1	尾鈴山酸性岩類	8.7	6.3	3.4	277.5	
317	砥石	SA2	ホルンフェルス	17.5	10.9	3.4	991.9	
318	石廬丁	SA2	ホルンフェルス	4.2	6.9	0.7	25.9	
319	粗製石廬丁	SA2	ホルンフェルス	2.9	6.4	1.2	21.2	
320	砥石	SA2	頁岩	7.0	4.5	1.0	41.0	
321	砥石	SA2	砂岩	11.9	3.6	3.5	185.5	
322	砥石	SA2	ホルンフェルス	9.1	3.4	2.8	137.7	
323	砥石	SA3	泥岩	2.3	1.8	0.4	1.7	
324	磨石	SA3	尾鈴山酸性岩類	12.0	11.6	6.5	1371.5	
325	石廬丁	SA4	ホルンフェルス	4.1	7.2	1.0	31.6	
326	砥石	SA4	砂岩	10.1	11.5	6.2	948.4	
327	磨石	SA4	尾鈴山酸性岩類	12.0	10.8	6.3	1198.1	
328	石廬丁	SA5	ホルンフェルス	7.4	4.3	0.4	15.4	
329	磨石	SA5	尾鈴山酸性岩類	6.4	5.9	2.3	137.1	
330	砥石	SA6	砂岩	9.1	5.7	1.8	135.8	
331	台石	SA8	砂岩	11.3	18.9	3.5	694.6	
332	磨石	SA10	尾鈴山酸性岩類	10.4	9.4	5.6	804.6	
333	愛玩石?	SA10	石英	6.8	6.4	4.2	229.3	
334	磨製石鏃	SA10	緑色頁岩	3.8	2.5	0.3	3.9	
335	石廬丁	SA12	ホルンフェルス	4.6	8.6	0.5	36.4	
336	石廬丁	SA12	ホルンフェルス	4.1	7.3	0.7	30.9	
337	砥石	SA12	砂岩	4.7	2.6	1.6	23.2	
338	石鏃	SA12	ホルンフェルス	13.0	7.9	4.0	489.0	
339	砥石	SA12	ホルンフェルス	15.0	7.3	7.5	1193.0	
340	砥石	SA12	砂岩	16.1	10.0	6.7	1275.8	
341	砥石	SA12	ホルンフェルス	10.6	5.7	3.1	240.8	
342	磨石	SA12	尾鈴山酸性岩類	9.5	8.3	3.5	418.8	
343	愛玩石?	SA12	ホルンフェルス	4.5	3.8	3.0	70.5	
344	台石か	SA12	尾鈴山酸性岩類	8.6	19.5	7.0	1883.6	
345	台石	SA12	尾鈴山酸性岩類	16.5	21.2	5.1	2655.1	
346	砥石	SA13	ホルンフェルス	9.7	2.8	0.6	27.1	
347	石廬丁	SA14	ホルンフェルス	4.4	3.7	0.7	17.2	
348	石廬丁?	SA14	ホルンフェルス	5.1	6.9	1.5	50.0	
349	台石	SA14	尾鈴山酸性岩類	18.4	28.3	9.9	7200.0	
350	有肩打製石斧	SA15	ホルンフェルス	5.9	5.8	1.7	63.1	
351	砥石	SA15	砂岩	29.8	22.6	7.4	8000.0	
352	台石	SA15	砂岩	23.5	27.0	10.2	9600.0	
353	石廬丁	SA17	ホルンフェルス	4.7	6.8	0.9	39.0	
354	石廬丁か	SA17	ホルンフェルス	4.7	7.5	0.5	26.5	
355	石廬丁	SA17	ホルンフェルス	5.0	6.8	0.6	34.4	
356	砥石	SA17	砂岩	7.2	3.2	2.6	87.5	
357	磨石	SA17	尾鈴山酸性岩類	10.0	8.9	5.0	634.0	
358	磨石	SA17	尾鈴山酸性岩類	8.4	8.0	3.6	363.3	ベンガラ付着
359	台石	SA18	尾鈴山酸性岩類	26.3	26.0	11.1	11900.0	
360	勾玉	SA18	蛇紋岩	1.4	0.8	0.3	0.4	
361	勾玉	SA18	蛇紋岩	1.4	0.9	0.3	0.4	
362	砥石	SA20	砂岩	15.7	7.7	5.5	749.1	
363	砥石	SA20	ホルンフェルス	9.5	3.2	2.3	92.4	
364	砥石	SA20	ホルンフェルス	8.6	3.2	1.3	74.5	
365	砥石	SA20	砂岩	6.9	7.4	2.2	178.1	
366	石廬丁	SA20	ホルンフェルス	4.8	8.9	0.8	50.5	
367	磨製石鏃	SA20	緑色頁岩	1.9	1.6	0.3	0.9	基部欠損後再研磨
368	磨石	SA20	尾鈴山酸性岩類	10.1	9.7	4.9	705.1	
369	台石	SA20	尾鈴山酸性岩類	12.4	16.0	6.1	2001.8	
370	石廬丁	SA21	ホルンフェルス	4.9	7.6	1.0	41.0	
371	磨石	SA22	尾鈴山酸性岩類	10.7	9.7	4.8	757.3	
372	石廬丁	SX1	ホルンフェルス	5.3	8.8	0.9	51.3	
373	磨石	SX1	尾鈴山酸性岩類	11.8	10.6	6.3	1258.2	
374	砥石	SE13上	砂岩	11.6	5.9	5.3	509.8	
375	砥石	SE1	砂岩	10.0	8.5	7.9	687.5	
376	ナイフ形石鏃	SA22上	ホルンフェルス	3.7	2.1	0.6	4.2	
377	ナイフ形石器	SE1	ホルンフェルス	2.8	1.3	0.4	1.7	
378	石鏃	表採	姫島産黒曜石	4.7	2.2	0.7	5.7	
379	打製石鏃	SA11上	姫島産黒曜石	1.3	1.4	0.3	0.3	
380	打製石鏃	表採	チャート	1.4	1.3	0.2	0.3	
381	打製石鏃	I13グリップ	チャート	2.8	2.3	0.4	1.4	
382	打製石鏃	SA20上	姫島産黒曜石	2.4	1.7	0.3	0.6	
383	打製石鏃	表採	ホルンフェルス	2.2	1.9	0.3	0.8	
384	打製石鏃	SA12上	姫島産黒曜石	1.4	0.7	0.3	0.2	
385	石鏃	507T	尾鈴山酸性岩類				1244.1	
386	剥片							
387	剥片							
388	剥片							
389	剥片							
390	磨石	504T	尾鈴山酸性岩類	9.2	8.9	4.4	548.3	
391	磨石	522T	砂岩	6.5	6.5	2.9	184.9	314と同石質
392	石廬丁	52T	ホルンフェルス	5.0	9.5	1.3	82.9	
393	火打石か	SL3上	チャート	2.3	1.4	0.7	2.2	

第7表 石器計測表

第VI章 まとめ

赤坂遺跡では、周溝墓1基、周溝状遺構3基、堅穴住居跡23軒、掘立柱建物跡19棟、溝状遺構4条他を検出した。遺物は、弥生土器が多数出土したほか、弥生時代の石器、須恵器、鉄滓等が出土した。

1 周溝墓(SM1)について

県内での調査例は赤坂遺跡で7例目であり、規模も比較的大きな部類に入る。県内における他の周溝墓は平地に築造される例がほとんどであるが、SM1は自然の地形を利用し丘陵頂部に築造した立地が特徴的である。古墳を意識した築造指向と言え言いつ過ぎになるが、平地ではなく丘陵頂部を選んだという事実は興味深い。そういった意味で、調査時は終末期の遺構として周辺の堅穴住居跡とは一線を画する時期にあると考えていたが、遺物出土量も期待されるほど多くなくその比較対象とするに不十分であること、主体部埋土検出の炭化材による放射性炭素年代測定の結果が他の堅穴住居跡の年代と大きく違わないことなどから、築造時期は後期後半としておきたい。

周溝から出土した長頸壺は明らかに装飾性が強く他の遺物と比べて特異な存在である。吉備地方の装飾土器に親縁的なものとも考えられるが、口頸部全体に文様が施され形状もやや大振りであること、体部に突帯が見られないことなどは一致しない。

2 周溝状遺構について

3基検出したが、そのうち2基(SL1及びSL3)が調査区外に延びる遺構であり、さらにこの2基は土器の出土量も多かったことから全容を把握できなかったことが惜しまれる。また、遺構の中心部が調査区外にあることにより主体部の有無を断定することができなかったため、周溝墓の可能性も否定できない。加えて、SL1及びSL3は平地に立地するのに対し、SL2は斜面に立地することも対照的である。近隣の遺跡では、前ノ田村上第1遺跡のSL1と国光原遺跡のSL1が検出例として挙げられる。

3 堅穴住居跡について

平面形の規模が比較的小さいものが多い。検出面から床面までの高さが浅いものがほとんどであることから、本来の住居の高さを失っているという前提に立ち、検出面の周囲にベッド状遺構が巡る可能性も検証したが、住居の周囲に柱穴が検出されたり遺物が散在することはなかった。

出土遺物については、壺・高坏は丁寧な整形が見られるのに対して甕は粗い仕上げになっているものが多い。また、SA15出土の瓢形土器は、管見の及ぶかぎり県内で初めて出土した遺物である。

4 焼失住居について

梁、桁については部位としての特定が難しかったが、垂木にはコナラ属・カキノキ属・シイ属を使用し、茅状の炭化材はメダケ属ネザサ節もしくはタケ亜科であったことが判明したことは大きな成果であった。また、SA4では柱の炭化材を検出できたことも注目される。西側の柱はコナラ属コナラ節、東側の柱はアワブキ属の材を使用しており、材の調達にあたっては調達場所または大きさや形状を考慮することにどまり、材の種類を統一させる意識はなかったことを示唆する結果となった。

検出した炭化材からはいくつかの情報を引き出すことが出来た。ただし、放射性炭素年代測定の結果については、材の生育年数と使用期間に時間差があること、古材を利用した可能性があること、材のどの部分をサンプリングしたかによる時期差の違い(表皮に近ければ近いほど切り出した時期に近い結果が出る)に注意する必要がある、現場でのサンプリングは材の残存状況や出土状況にも左右されるため、必ずしも材の表皮に近い部分を採取できたわけではないことを付記する。

5 出土土器と時期について

赤坂遺跡の出土遺物の大部分は弥生土器が占めている。作業工程上全ての土器を整理することができなかったが、311点を図化し掲載した。内訳は、甕が128点（約41%）と最も多く、以下、壺が71点（約23%）、鉢が53点（約17%）、高坏が48点（約15%）、その他11点（約4%）である。各遺構から出土した土器の総重量と図化した土器の割合は、第V章の各遺構の概説において示したとおりである。遺構によって図化した割合はまちまちであるが、遺物の器種構成は概ね上記のとおりであったものと推察される。

本遺跡で最も多く出土した甕の底部に着目すると明瞭な上げ底を呈するものは少なく、端部が張り出しわずかに上げ底になっているものまたは脚台状を呈するものが多い。平底も散見されるが大半を占めるほどにはそろっていない。尖底・丸底はほとんどなく、底面と側面の境界が明瞭なものがほとんどである。よって、本遺跡の弥生土器は、松永幸寿氏が行っている宮崎平野の土器編年（註）を借りるならば、5期を軸に3～6期を中心とする弥生時代後期後半～終末期に入るものと考えられる。

（註）松永幸寿2001『宮崎平野における弥生時代後期中葉～古墳時代中期の土器編年』『宮崎考古』第17号

6 土器に残る種子圧痕について

出土した弥生土器にはイネ等の圧痕が土器表面に見られるものがあつた。圧痕が認められた遺物については第6表に示したが、肉眼観察による認定のため圧痕の可能性にとどまるものも含まれている。

そのうち4点について熊本大学の小畑弘己氏に圧痕レプリカ法により同定していただく機会に恵まれた。その結果、SA6出土の116及び118（いずれも肩部）の圧痕はイネであることが分かった。

7 フローテーションについて

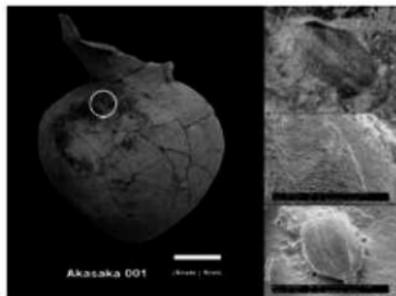
土壌試料は、周溝墓（SM1）が主体部埋土全部及び周溝床面直上の埋土、周溝状遺構（SL1～SL3）の周溝及び竅穴住居跡は床面直上の埋土を主にサンプリングした。乾燥後の総重量は214.5kgとなり、水洗の後、肉眼による一次選別（炭化物とそ

他の選別）、実体顕微鏡による二次選別（種子状のものや材状のもの選別）を経て、種子状の炭化物の一部について自然科学分析を行った。結果の詳細は第V章第3節で述べたとおりだが、問題点として、住居埋土の上部もしくは遺構近辺の自然堆積土からのサンプリングを行っていないため分析試料との比較・検証ができなかったことと、同定できた資料についても量的にまとまったものではなく、後世の混入の可能性を拭えないことがあげられる。

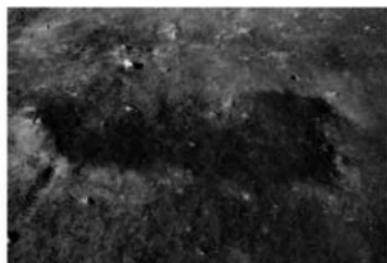
8 掘立柱建物跡について

建物としての認定は全て現場で行い、図上復元は行っていない。主軸方位は真北を指すものと北東を指すものとに大別され、多くは梁行が1間である。全体の遺構分布から、竅穴住居跡と掘立柱建物跡が区域を分けているようにも見えるため弥生時代の遺構としての可能性も検証したが、柱穴径がほぼ均一で20～40cm程度とやや細いこと等から中世の掘立柱建物跡として記録し、本書においても中世の遺構として記載した。

ただし、19棟の検出数の割に中世の遺物の出土が非常に少なかったことには疑問が残る。



土器に残るイネの圧痕（118）



主体部検出状況



長頸壺出土状況



主体部掘削状況



主体部完掘状況①



真上から



主体部完掘状況②



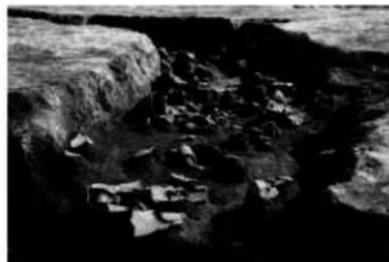
断ち割り

周溝墓 (SM1)

図版 2



SL 1 検出状況



SL 1 遺物出土状況



SL 2 検出状況



SL 2 完掘状況



SL 2 断ち割り



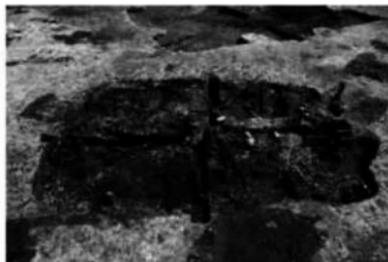
SL 3 遺物出土状況①



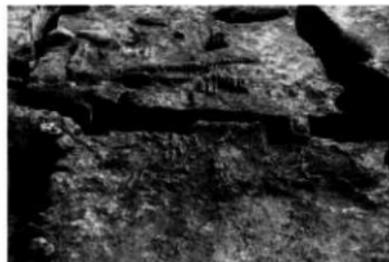
SL 3 遺物出土状況②



SL 3 遺物出土状況③



SA 1



SA 1 「繊維状」炭化材検出状況



SA 2 検出状況



SA 2 床面検出状況



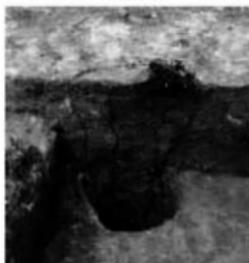
SA 3



SA 4



SA 4 (P1) 断面



SA 4 (P2) 断面

図版 4



SA 5 検出状況 (手前)



SA 5 完掘状況



SA 6 検出状況



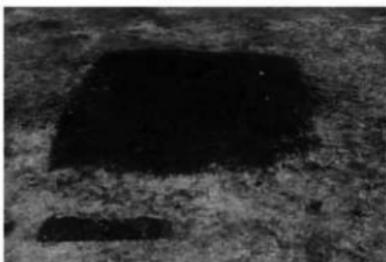
SA 6 遺物出土状況①



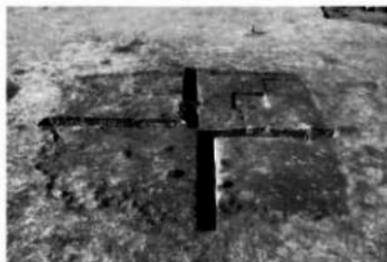
SA 6 遺物出土状況②



SA 6 遺物出土状況③



SA 7 検出状況



SA 7 完掘状況



SA 8 床面検出状況



SA 8 完掘状況



SA 9 遺物出土状況①



SA 9 遺物出土状況②



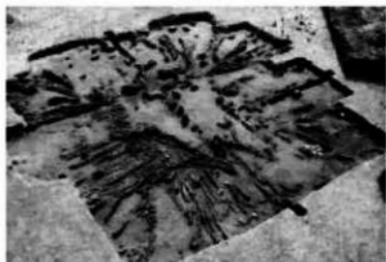
SA 10



SA 11



SA 12 検出状況



SA 12 炭化材①

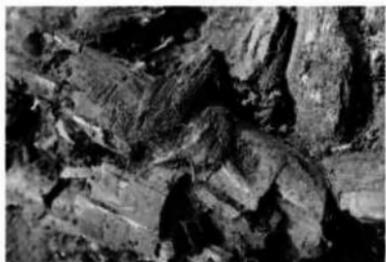
図版 6



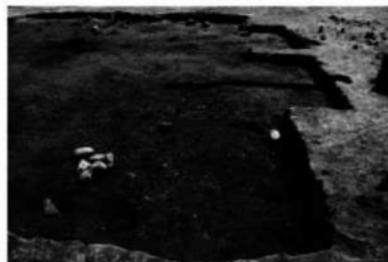
SA12炭化材②



SA12炭化材③



SA12炭化材④



SA12床面検出状況

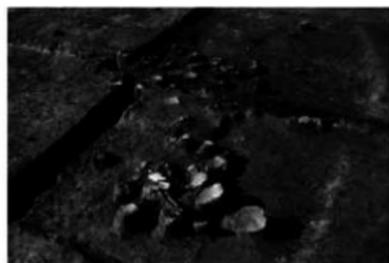


SA12完掘状況

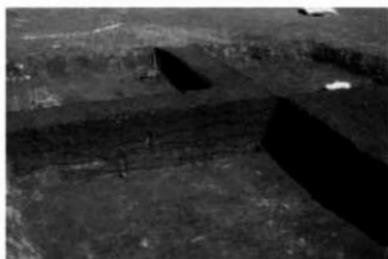
SA12



SA13床面検出状況



SA13遺物出土状況



SA14断面



SA14床面検出状況



SA15遺物出土状況①



SA15遺物出土状況②

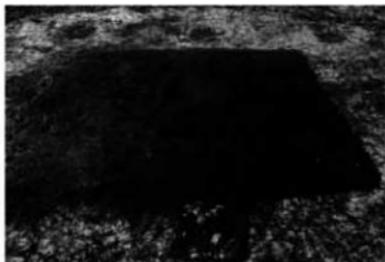


SA16検出状況

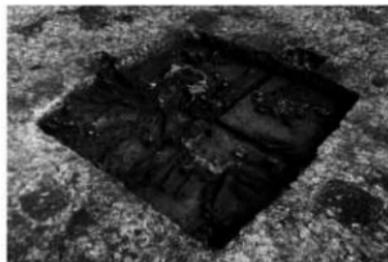


SA16・SC2

図版 8



SA17検出状況



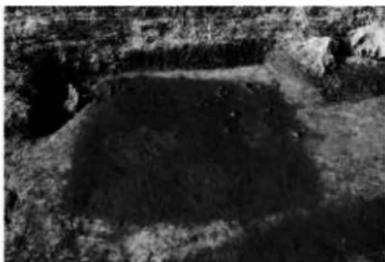
SA17 (西から)



SA17 (南東から)



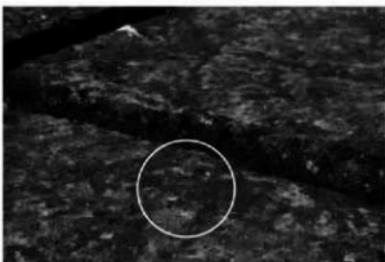
SA17 (北から)



SA18検出状況



SA18床面検出状況



SA18勾玉出土状況



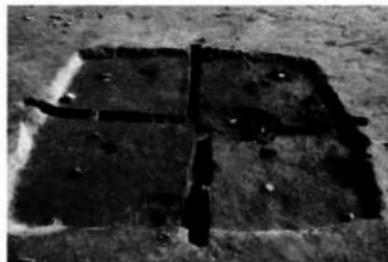
SA18完掘状況



S A 19検出状況



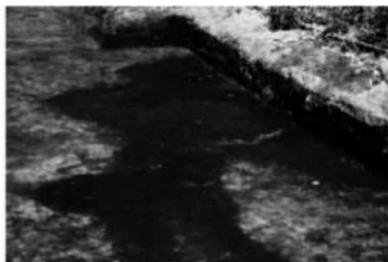
S A 20検出状況



S A 20床面検出状況



S A 20器台 (268) 出土状況



S A 21検出状況



S A 21・S L 1床面検出状況



S A 22床面検出状況



S A 22 (奥はSM1)

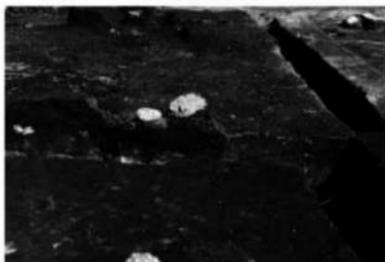
図版10



溝状遺構検出状況



S X 1 遺物出土状況



SA 5 を切る SE 1 (断面)



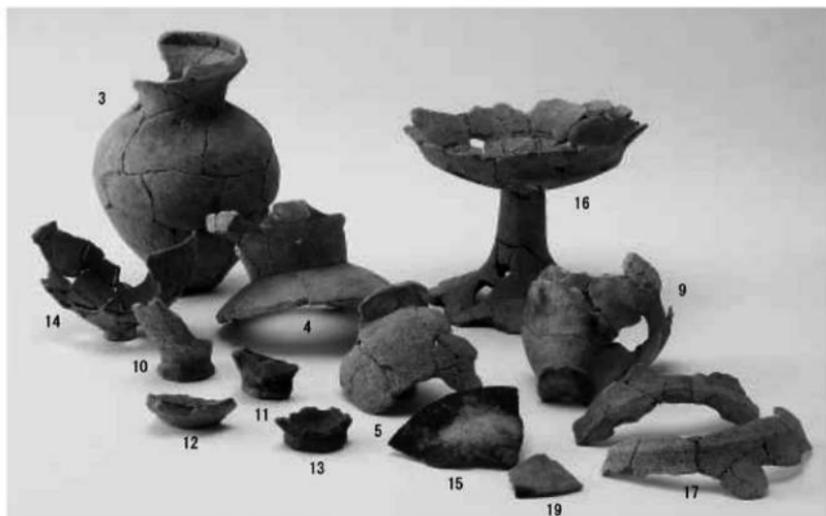
掘立柱建物跡柱穴検出状況



SB 検出状況①



SB 検出状況②



周溝墓 (SM1) 出土遺物



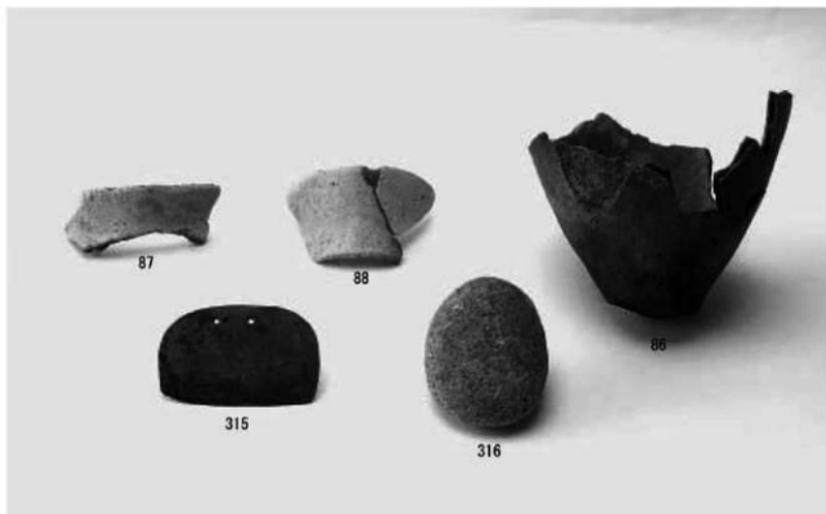
周溝狀遺構（SL1）出土遺物



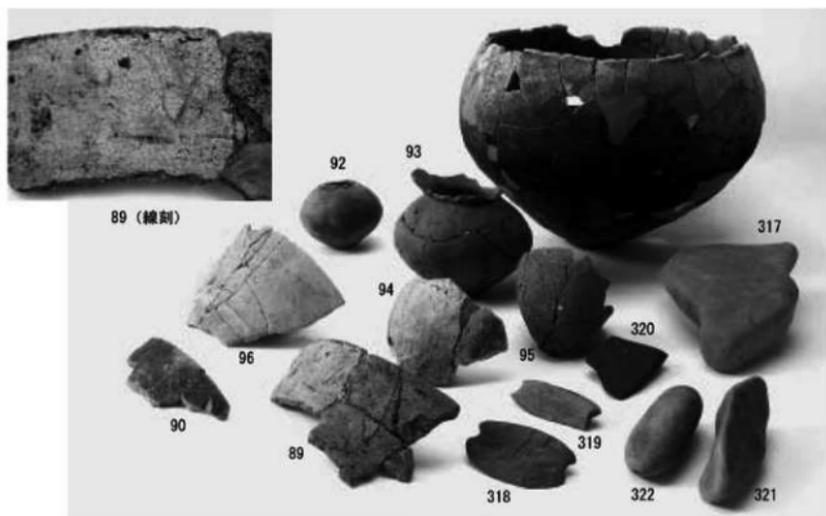
周溝狀遺構（SL2）出土遺物



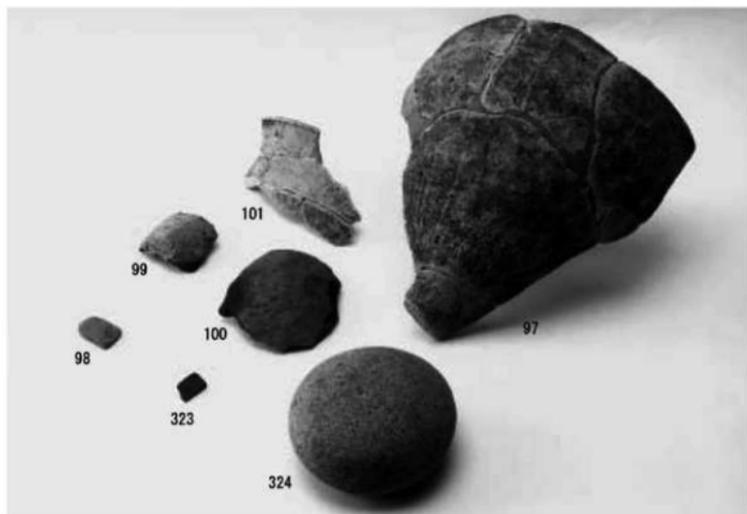
周溝狀遺構 (SL3) 出土遺物



竪穴住居跡（SA1）出土遺物



竪穴住居跡（SA2）出土遺物



竖穴住居跡（SA3）出土遺物



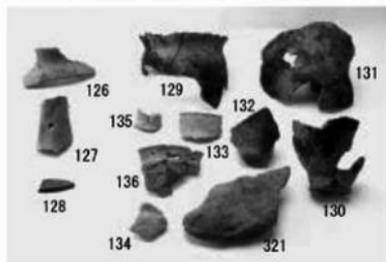
竖穴住居跡（SA4）出土遺物



竪穴住居跡 (SA6) 出土遺物



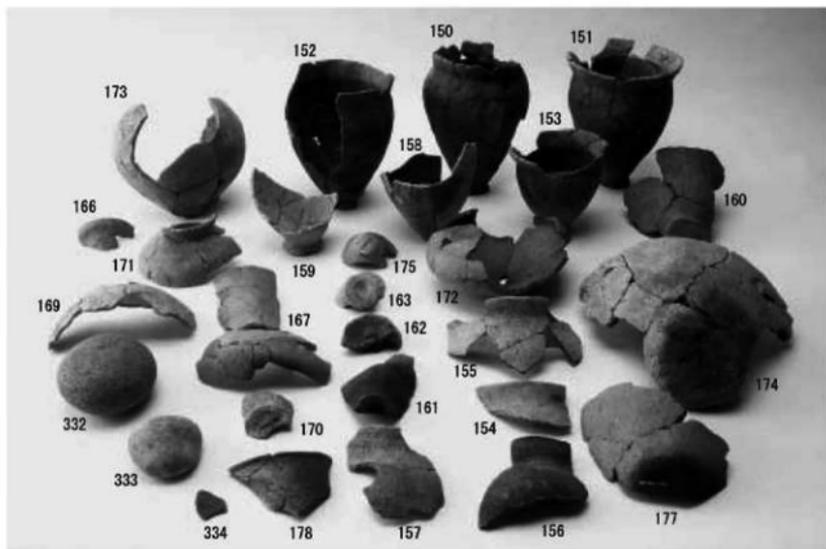
竪穴住居跡 (SA5) 出土遺物



竪穴住居跡 (SA7・8) 出土遺物



118 (線刻) (SA6)



竖穴住居跡 (S A 10) 出土遺物



竖穴住居跡 (S A 9) 出土遺物



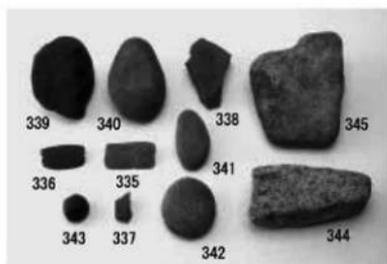
竖穴住居跡 (S A 13) 出土遺物



竖穴住居跡 (S A 11) 出土遺物



竖穴住居跡 (S A 14) 出土遺物



竪穴住居跡 (SA12) 出土遺物



竖穴住居跡 (SA15) 出土遺物



220



221

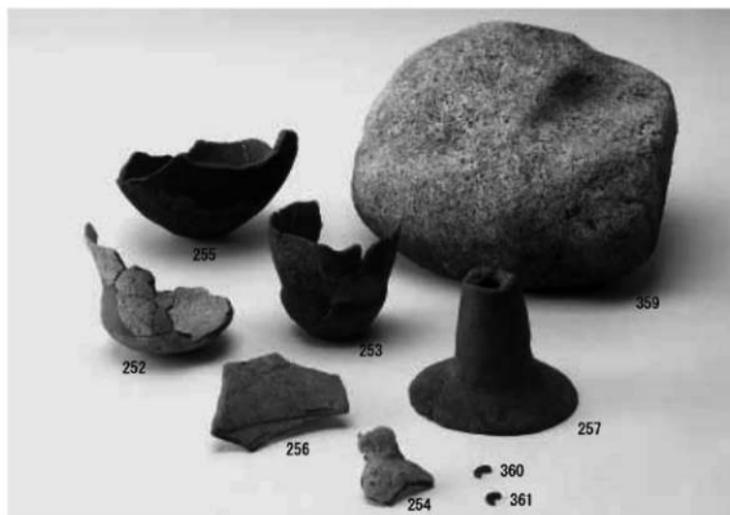
竖穴住居跡 (SA15) 出土遺物



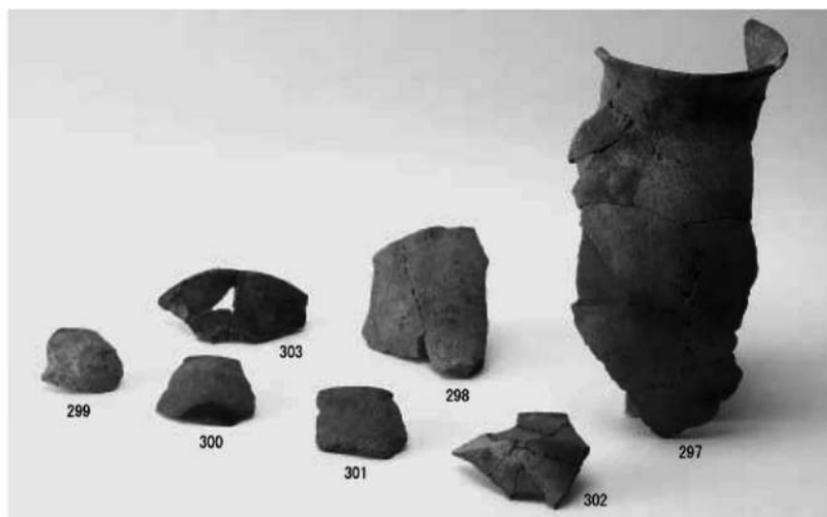
竪穴住居跡（SA16）出土遺物



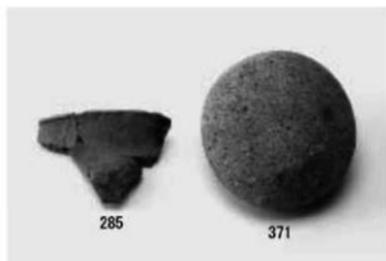
竪穴住居跡（SA17）出土遺物



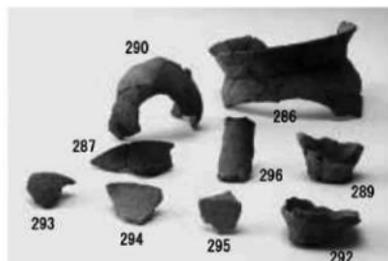
竪穴住居跡 (SA18) 出土遺物



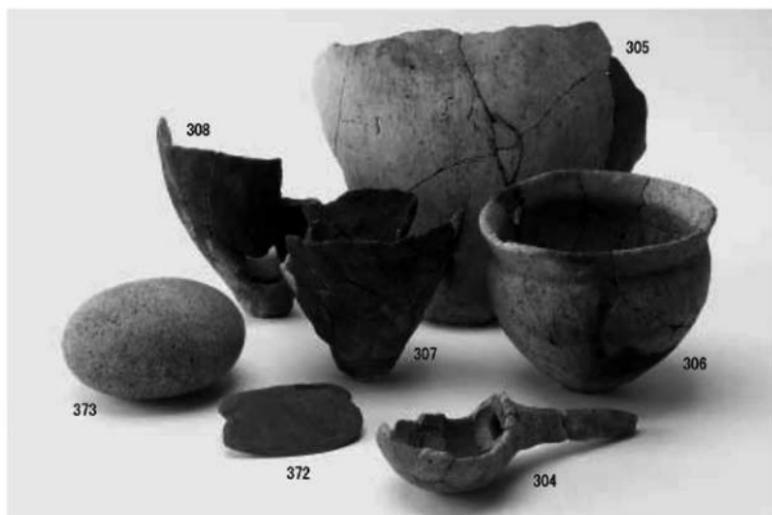
竪穴住居跡 (SA19) 出土遺物



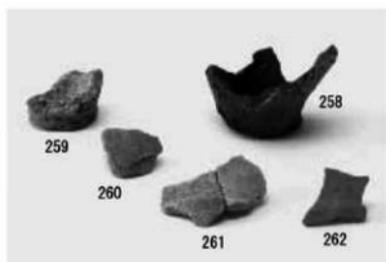
竪穴住居跡 (SA22) 出土遺物



竪穴住居跡 (SA23) 出土遺物



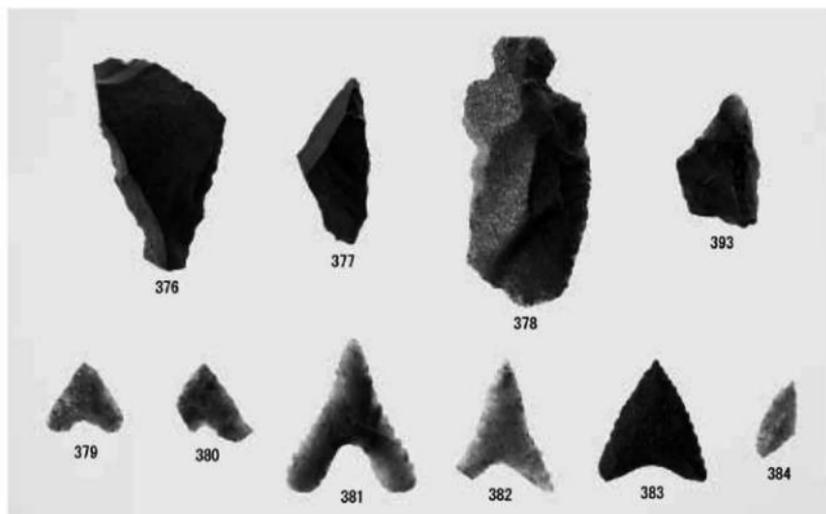
土器溜まり (SX1) 出土遺物



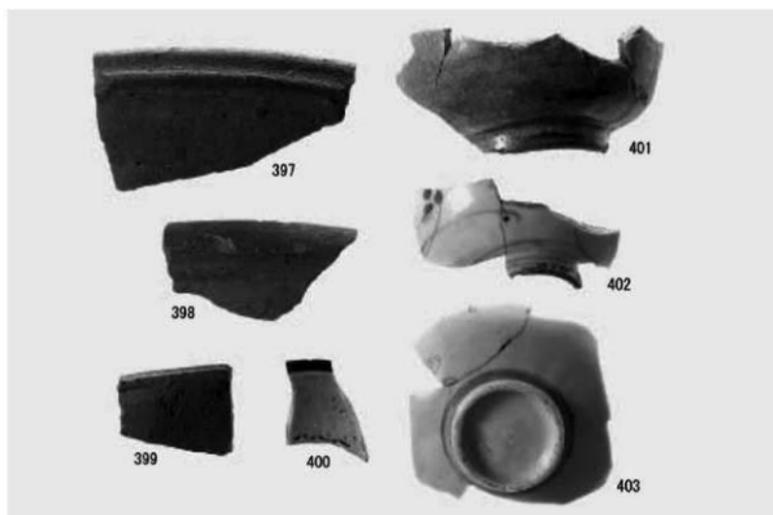
土坑 (SC1) 出土遺物



溝状遺構 (SE1) 出土遺物



遺構外出土の石器



出土須恵器・陶磁器

報 告 書 抄 録

ふりがな	あかさかいせき					
書名	赤坂遺跡					
副書名	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書					
巻次	46					
シリーズ名	宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書					
シリーズ番号	第151集					
執筆編集担当者	興 侶 慶 一					
発行機関	宮崎県埋蔵文化財センター					
所在地	〒880-0212 宮崎県宮崎市佐土原町下那珂4019番地 TEL. 0985-36-1171					
発行年月日	2007(平成19)年3月16日					
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
あかさかいせき 赤坂遺跡	宮崎県児湯郡 川南町大字川南 字山下道上・ 東国光	32度 10分 56秒	131度 29分 48秒	2004.06.01 ～ 2005.03.30	16,700㎡	東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査
種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項
集落 墓 散布地	弥生時代 中世	周溝墓 周溝状遺構 竅穴住居跡 土器溜まり 掘立柱建物跡 溝状遺構	1基 3基 23軒 1基 19棟 4条	弥生土器 甕、壺、高坏、鉢、 長頸壺、瓢形土器 勾玉、磨石、蔽石 他 鉄鏃 須恵器 陶磁器	弥生集落と周溝墓 中世の掘立柱建物跡群	

宮崎県埋蔵文化財センター発掘調査報告書 第151集

赤坂遺跡

東九州自動車道（都農～西都間）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書46

2007(平成19)年3月16日

発行 宮崎県埋蔵文化財センター
〒880-0212 宮崎市佐土原町下那珂4019番地
電話 0985(36)1171 FAX 0985(72)0660

印刷 宮崎紙工印刷株式会社
〒880-0921 宮崎市本郷南方4045番地4
電話 0985(56)2324 FAX 0985(56)5162
